

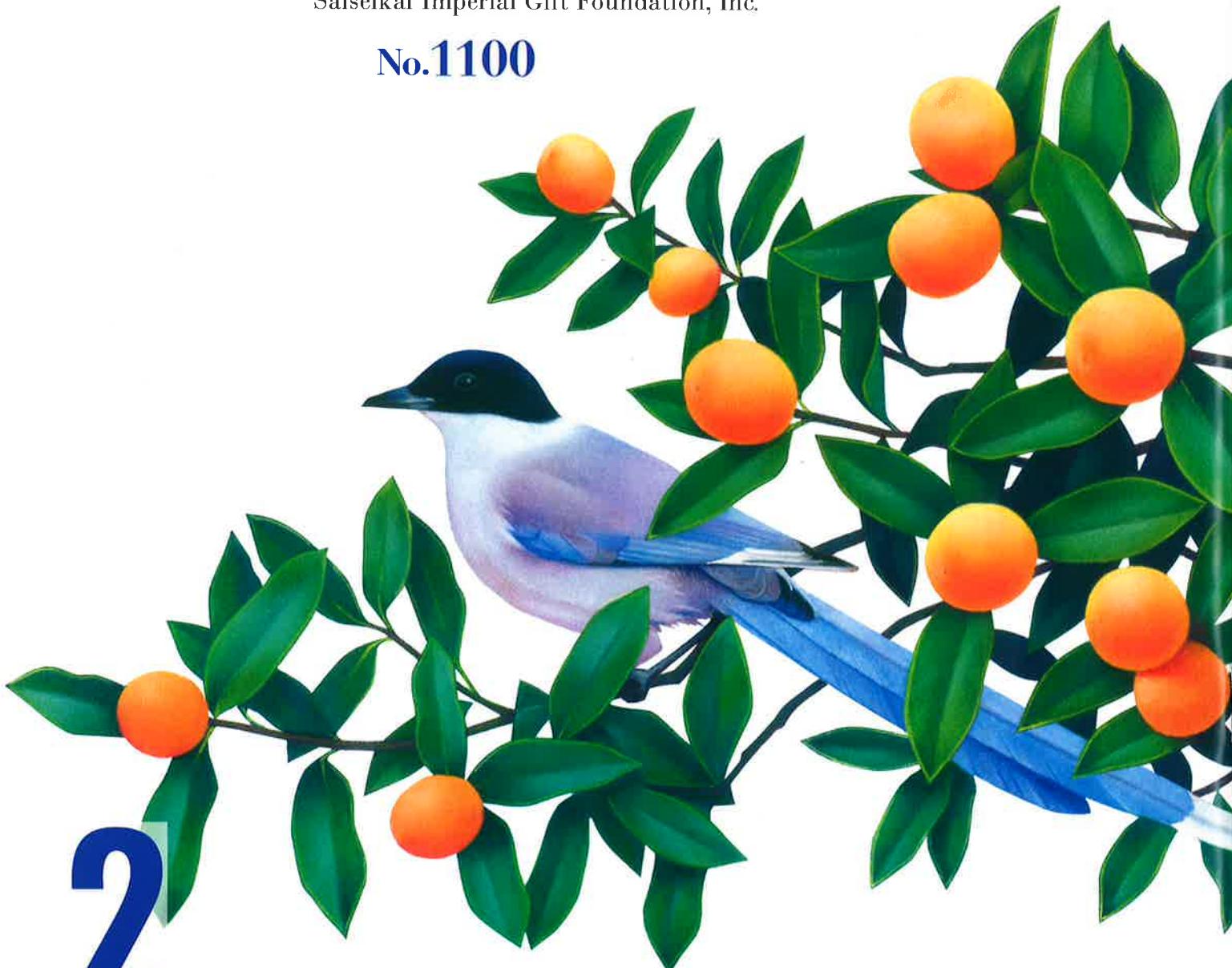
1924年6月からの歩み
通算1100号
記念号

濟生

SAISEI

THE NEWSLETTER of
Social Welfare Organization
Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

No.1100



2

February 2021

社会福祉法人

恩賜 濟生会

<https://www.saiseikai.or.jp>

済生会の 不易流行論

理事長 炭谷 茂
Shigeru Sunitani



149

国民の行動変容の方策

新型コロナの感染予防の最も重要なことは、「一人ひとりが感染予防の認識を持ち、行動することである。これがなければ、行政や病院が何をしようと、新型コロナを制圧することはできない。

しかし、私の自宅近くの渋谷や表参道の繁華街の若者の行動を見ると、悲観的になる。「かかっても重症にならない」と軽率

な若者の行動が目立つ。研究者の中には、「新型コロナは、インフルエンザよりも死亡率が低いから恐れなくてもよい」と楽観論を述べて、若者の軽率な行動を助長させる者もいる。感染した無症状の若者が、家庭や職場等で感染を拡大させ、たくさん

の重症の高齢者を発生させてい

る。

1月に入つて国によつて東京、大阪等11都府県に緊急事態宣言が発出されたが、昨年春に発出された時と異なり、社会全体に緊張感が乏しいのではないだろうか。「コロナ慣れ」「コロナ疲れ」と言える。政府からのメッセージは、説得力に欠ける。

新型コロナに向けた国民の行動変容は、不完全なままだ。これを変容させるにはどうしたらよいのだろうか。

昨年春は新型コロナに対する「恐怖」が、人々の行動を変容させたが、今は変わってきたようだ。確かに正しく恐れることは重要だが、恐れ過ぎてもいけないので、「恐怖」による行動変容を期待するのは邪道である。感染すると「世間の目」が心配で、行動変容する面がある。

1月10日付の朝日新聞が発表した世論調査によると、「感染したら、健康不安よりも近所や職場など世間の目の方が心配」と回答した人は、67%に上る。感染者に対する強い差別・排除が存在するためである。必ずしも好ましいことではない。

法律による「罰則」を設けることが考えられる。本稿執筆時（1月16日）の報道では厚労省は、

感染症法等を改正して入院拒否や疫学調査拒否などの感染者、休業要請拒否の事業者等に懲役刑等の罰則を科すことを検討している。

旧法の伝染病予防法やらい予防法でも罰則規定があり、人権問題を生じた苦い経験がある。感染症対策での罰則は、感染症対策とともに人権論や刑法理論の観点からの議論が必要である。

☆ ☆ ☆

本来、人々が行動変容をする最も望ましい方法は、感染予防の重要性を理解し、自主的に取り組むことである。

このため必要なことは、国や自治体、メディアからの分かりやすい情報発信である。

さらに効果があるのは友人や小グループによる日常の会話である。かつては町の井戸端会話などが有効だったが、今日ではこれに代わって趣味の会やスポーツクラブでの会話などが効果的だ。今はオンラインでの交流になるが、終息後は将來に備え集まりの場をたくさん設けてい

昨日、 今日、 明日、三井住友銀行と。

昨日とは違う今日をはじめるために。

今日を未来へつなげていくために。

私たちは、お一人おひとりの毎日を、

一つひとつの変化を、丁寧に見つめていきたい。

いつどんなときも、あなたにいちばん近い銀行でありたい。

これからもずっと、あなたの人生のパートナーであるために。





柑 橘類の金柑は、鎌倉末期から室町初期、その名前とともに原産地の中国から渡来した。同じキンカンでも虫刺されに塗るのは全く関係なく、朝鮮半島の古代・新羅の古墳から出土した「金冠」に由来するという。

2月のたよりが聞こえる キンカン

マルミ（丸実）、ナガミ（長実）、ニンポウ（寧波）、ナガハ（長葉）など様々な品種が続々入り、改良されてきた。収穫期は初冬から春にかけて。生食のほかシロップや蜂蜜漬けなどにして食べられ、古来、のどやせきの薬としても珍重されている。

金柑と言えば、明智光秀である。初めて光秀に会つた織田信長は「みれば見るほど金柑似ていた」と思った。司馬遼太郎が「国盗り物語」でそう書いたことで、金柑説が定着した。

変の約15年後成立したとされる「義変後覚」。酒席で中座した光秀を信長が追いかけ、「金柑頭、なぜ席を立つのだ」ととがめたという。世間話集なので光秀金柑説の信ぴょう性は乏しいものの、以後、「光秀＝金柑頭＝禿」という連想の図式は脈々と続くことになる。しかも、光秀の下部を合わせると「禿」になると謎解きのような尾ひれまで付いていた。時代は下り、1905（明治38）年、夏目漱石は「吾輩は猫である」にギリシャの作家、イスキラス（アイスキユロス）を取り上げ、こう書いた。「学者作家の頭はみんな營養不足でみんな禿げている。さてイスキラスも作家であるから自然の勢禿げなくてはならん。彼はつるつる然たる金柑頭を有しておった」

その漱石が熊本で英語教師をしていた明治33年、東京・根岸の正岡子規に大粒の金柑を送っている。有名な横顔写真の子規も確かに頭は金柑っぽいが、そういう意味ではなく結核で伏せる友への心遣いだったのだろう。

表紙のことば

檸檬が初恋なら金柑は家族愛の味

表紙イラスト 久保田真由美 *Mayumi Kubota*

金柑は好きですか？ 実家の庭に金柑の木があり冬になると小さな実をたくさんつけていました。風邪ひかないから体に良いからと食べさせられていきましたが、子供の頃はちょっと苦いその味はあまり好きではありませんでした。一人暮らしにな

り実家の両親から渡される金柑が楽しみになりました。少し硬い皮を噛んだ時に口いっぱいに広がる金柑の香りは今では冬の喜びのひとつになっています。実家の庭で見かけていたオナガ（表紙）やメジロとともに描いてみました。

濟生

SAISEI

FEBRUARY, 2021

CONTENTS

NEWSな濟生人

高田俊宏さん

高齢者をできるだけ“入院させない医療”を実践
(大阪) 中津病院 老年内科部長

06

濟生会交差点

【地域に禁煙を広める】禁煙外来の患者が倍増。決め手はスタッフの教育／【がん治療の栄養管理】多職種連携できめ細かくがん患者の食を徹底サポート／【EPA候補者の受け入れ】地域の一員として迎え、手厚いサポートで人間力も培う／【小児救急医療】365日、地域一丸で子どもの命を守る

10

機関誌「濟生」が通算

1100号!!

2020年の記事から
11の賞を選定

18

一挙再掲載

山口総合病院／滋賀県病院／(和歌山) 有田病院／(富山) 高岡病院／(岩手) 陸前高田診療所／(神奈川) わかくさ保育園／(山形) 特養ながまち荘／(鹿児島) 川内病院／(新潟) 三条特養長和園／山口地域ケアセンター／(大分) 日田病院

28

がんばろう！ 濟生会

〈大阪〉 吹田病院／岡山済生会看護専門学校／山口総合病院／(愛媛) 松山老健にぎたつ苑／(福岡) 大牟田ライフケア院

28

新型コロナウイルスとの戦いの記録

各施設から 〈大阪〉 吹田病院／香川県済生会病院 など全8施設

38

巻頭コラム 濟生会の不易流行論

国民の行動変容の方策 理事長 炭谷 茂

03

2月のたよりが聞こえる キンカン 表紙のことば 久保田真由美

05

なでしこナースのストーリー

ソーシャルインクルージョン

48

TOPICS

載々、大雑報

71

題字協力：石飛博光

アートディレクション：
OVO INTERNATIONAL

この人 西川美和

口福にっぽん 吉井省一

42

だれでもかんたんてづくりおもちゃ
いまいみさ

44

46



わが国は、65歳以上の人口が3617万人で全人口の28.7%（2020年）と、世界一の超高齢社会です。こうした中、高齢者に特化した診療を行なう老年内科が、大阪・中津病院にあります。老年病専門医の高田俊宏さんは、患者さんの暮らしぶりを

見て必要な医療・介護・福祉サービスを結び、できるだけ自宅で生活し続けられるよう支えています。超高齢社会で済生会が目指す医療の姿を探りました。

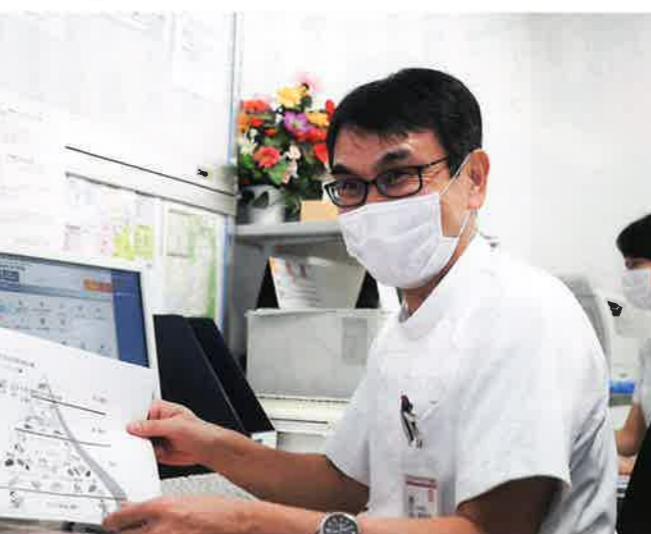
（中津病院 済生記者 久原市子）

高齢者をできるだけ”入院させない医療“を実践

〈大阪〉中津病院 老年内科部長

高田俊宏さん

NEWSな済生人 Interview



久原 包括的な診療？

高田 そのため初診は予約制です。紹介患者さんがほとんどですが、高齢の親御さんを持つ家族が、インターネットで「老年内科」を見つけて大阪以外から来る人もいます。その場合も、初診ではどこでどんな診療を受けていて、どんな薬を飲んでいるのか、患者さんや家族から詳しく聞きます。

久原 徹底的に情報を聞くことが老年内科の出発点ということですね。

高田 そのプロセスが重要です。認知症だったり、高齢者によくある取り繕いがあつたりすると、本人に聞くだけでは正しい情報が得られません。家族や近親者にも時間を合わせて一緒に来てもらい、普段の様子を教えてもらうために予約制でいます。

久原 多角的に情報を得るわけですね。

高田 生活と共にしている家族には「週末だけでも本人の家に泊まって、日常を見てください」とお願いすることもあります。診察室の中で見聞きすることだけで判断するのは難しいです。

久原 日常を知ることが大切ですね。

高田 独居の方には、訪問看護が介入するケースもあります。日常生活動作や服薬管理、食事の状況等を訪問看護師から聞いて、問題があれば介護保険の申請など、ケアマネジャーと相談することもあります。

高田 病院の各診療科や個々のクリニックは、特定の病気の治療を行ないますが、老年内科では、患者さんがどのような病気を抱えているのかを総ざらいします。生活習慣、生活支援の状況、投薬内容など総合的に評価して助言します。薬が多ければ優先順位をつけて、高齢者に副作用が懸念されるものはやめてもらいます。

久原 他院が処方し、今飲んでいる薬も見直すのですか。

高田 薬剤の副作用は加齢に伴つて起こる確率が高まります。いままで一日3回の

服用で問題なくとも、加齢で体や薬剤耐性も変わったことを勘案し、処方を変更する必要も出できます。

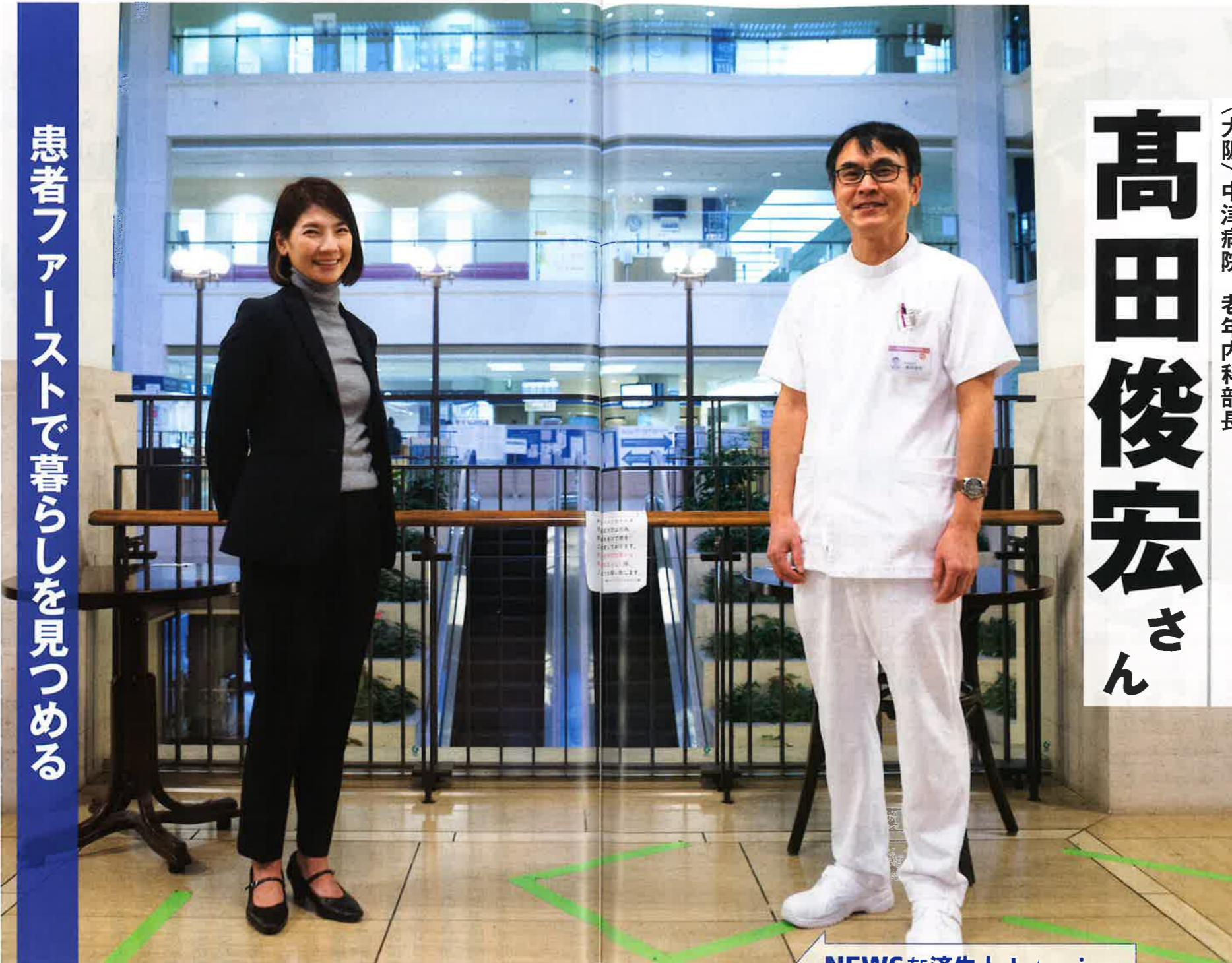
久原 老年病専門医ならではの視点ですね。特に、総合感冒薬など抗コリン作用のある薬を高齢者が服用すると、せん妄などの副作用が起りがちですが、正しい指導を受けずに飲み続けている患者さんが少なくありません。もの忘れの症状があつて、自分で服薬管理ができない場合は、環境が整うまで薬を処方しないこともあります。

久原 診察には時間がかかりそうです。

専門性の高い看護師による在宅診療に期待

高田 他にも特徴がありますか？

※新型コロナウイルス感染防止のため、当分の間、インタビューは当該施設の済生記者が務めます。また、写真撮影時のマスクを外しています。



患者ファーストで暮らしを見つめる

中津病院の北棟で。左は聞き手の久原さん

高田 病院の各診療科や個々のクリニックは、特定の病気の治療を行ないますが、老年内科では、患者さんがどのような病気を抱えているのかを総ざらいします。生活習慣、生活支援の状況、投薬内容など総合的に評価して助言します。薬が多ければ優先順位をつけて、高齢者に副作用が懸念されるものはやめてもらいます。

久原 他院が処方し、今飲んでいる薬も見直すのですか。

高田 薬剤の副作用は加齢に伴つて起こる確率が高まります。いままで一日3回の

服用で問題なくとも、加齢で体や薬剤耐性も変わったことを勘案し、処方を変更する必要も出できます。

久原 老年病専門医ならではの視点ですね。特に、総合感冒薬など抗コリン作用のある薬を高齢者が服用すると、せん妄などの副作用が起りがちですが、正しい指導を受けずに飲み続けている患者さんが少くありません。もの忘れの症状があつて、自分で服薬管理ができない場合は、環境が整うまで薬を処方しないこともあります。

久原 診察には時間がかかりそうです。

07 SAISEI | 2021 FEBRUARY

久原 改めて老年内科とは、どのような診療科ですか？

高田 患者さんの9割以上に物忘れの症状があり、認知症の疑いで受診する人が多くいます。加齢により心身が衰える状態の「フレイル」が知られるようになり、「自分は大丈夫か？」と言つて来る患者さんも増えました。老年内科は高齢社会の中心的な存在になる診療科だと思います。

久原 具体的にどんな診療を？

高田 当科では、患者さんの生活情報を重視し、画像検査のみに頼らない包括的な診療を受けたい患者さんも増えています。

院させない治療」を考えます。高齢者は入院をきっかけに弱つてしまいがちです。患者さんと家族がどうしたら入院せずに暮らしていけるのかを第一に考える。患者さんファーストで動きます。

久原 介護との連携も大事です。
院させない治療」を考えます。高齢者は入院をきっかけに弱つてしまいがちです。患者さんと家族がどうしたら入院せずに暮らしていけるのかを第一に考える。患者さんファーストで動きます。

久原 医療と介護が情報共有し支える仕組みが大事ですか？

久原 医療のコントロールは医療機関が行ないますが、並行して病気を悪くしないための介護サービスを活用することも大切です。

久原 医療と介護が情報共有し支える仕組みが大事ですか？

久原 医療と介護は、連携させるのではなく、一体であることが必要です。その狭間を埋められる存

在として、済生会には専門性の高い看護師がたくさんいます。その人たち

が自由に在宅診療に行けるようになればいいですね。

久原 認定看護師や特定看護師などへの期待ですか？

久原 高齢者がますます増える中で、医師だけでは医療ニーズを支えきられません。専門性の高い看護師が地域にどんどん出て行って、在宅の患者さんや家族、介護施設のスタッフを教育して、地域全体のスキルアップを果たしていくといいですね。

久原 なるほど。

医療と介護は連携ではなく“一体”であるべき。
多職種の連携を進める指揮者が必要

NEWSな済生人 Interview



かと思います。

高齢になるとどうなる？

市民への教育・啓発も大事

久原 超高齢社会の今、老年医療に必要なことは何でしょうか。
高田 先ほど医療側はケアマネのような福祉の視点を、また逆も然りと話しました。もう一つ大切なのは当事者の市民が、老年

かかりつけ医が担えるように国の医療制度がしっかりとできるといふ思います。

久原 何かアイデアはあるのでしょうか。
高田 例えば退院後は、訪問看護師や介護福祉士が看護・介護に必要なスキルを家族へ提供する仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。

久原 何かアイデアはあるのでしょうか。
高田 例えは退院後は、訪問看護師や介護福祉士が看護・介護に必要なスキルを家族へ提供する仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。

久原 病院とかかりつけ医との連携はいかがですか？
高田 入院支援は診療報酬で評価されますが、退院後も継続して患者や家族をサポートする仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。

久原 病院とかかりつけ医との連携はいかがですか？
高田 入院支援は診療報酬で評価されますが、退院後も継続して患者や家族をサポートする仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。

久原 病院とかかりつけ医との連携はいかがですか？
高田 入院支援は診療報酬で評価されますが、退院後も継続して患者や家族をサポートする仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。

久原 病院とかかりつけ医との連携はいかがですか？
高田 入院支援は診療報酬で評価されますが、退院後も継続して患者や家族をサポートする仕組みがまだない。そこまでをかかりつけ医が担えるように国が医療制度がしっかりできるといふ思います。



久原 市民に向けた教育・啓発は、済生会でもできそうです。
高田 「高齢者になつたらこんな変化が起こる」といったイメージを多くの人に描いてもらえるように働きかけることが大事です。でも現実は、住民健診に本当に来てほしい人がなかなか来てくれない、健康に関心をもつてもうえない。
久原 50代の人に、80歳になると生活習慣病がどれだけ怖い病気の原因になるのかなどを、今のうちからしっかりと話を聞き、一人ひとりの暮らしに寄り添っています。老年医療は非常に時間とマンパワーが必要とされることを再確認しました。超高齢社会の今日、老年医療を支

思います。

久原 「医療と福祉を切れ目なく」——まさに済生会が果たすべき役割です。
高田 医療も福祉も併せ持つ本会が、地域の高齢者医療の担い手になるのは、そのブランドイメージからもメリットがあります。地域包括ケアシステムも、済生会が医療と介護に精通した人材を養成し、その中核を担つていけるといいですね。ニーズがあれば制度は後からついてきます。長い目で見れば、後々、診療報酬がさつとついてきて経営的にも成り立つはずです。

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくけるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくれるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

久原 先ほど医療側はケアマネのような福利厚生の視点を、また逆も然りと話しました。もう一つ大切なのは当事者の市民が、老年

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくれるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくれるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくれるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

久原 そのためには、どのような人材が必要ですか？
高田 国が進める地域包括ケアシステム、イメージは良いが狙い通りに動いていない。患者さんにとつて、どのような支援が必要か包括的に把握して、多職種の連携を上手に進めていくれるよう、タクトを振つて指挥できる人材を作ることが必要です。済生会が先頭に立つて旗を振り進めていきたいですね。

(久原市子)

禁煙外来の患者が倍増

決め手はスタッフの教育

地域に
禁煙を広める
〈愛媛〉
松山病院
脳神経外科 外来看護師
大沼翔子

松山病院は2015年10月に敷地内を禁煙にし、禁煙外来を開設しました。喫煙が原因となる動脈硬化は血管障害のハイリスク因子で、循環器内科・脳神経外科の医師と禁煙外来担当看護師のチームで治療を行なっています。開設から5年、100人以上の患者さんが受診しています。

患者さんの動機は、「入院を

きっかけに自身の体調管理のため」と「医師のすすめ」が目立

禁煙支援推進に向けたスタッフ教育に取り組みました。

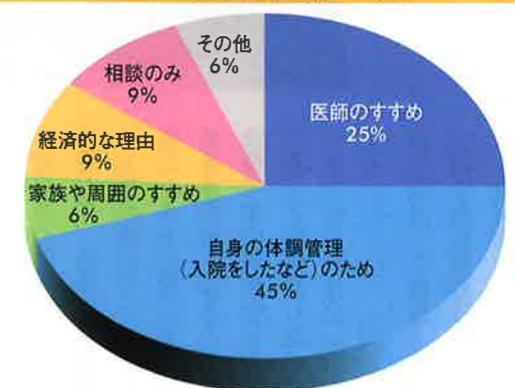
まずはスタッ

フから喫煙者への「声かけ」に着目し、患者さんと関わる機会の多い看護職

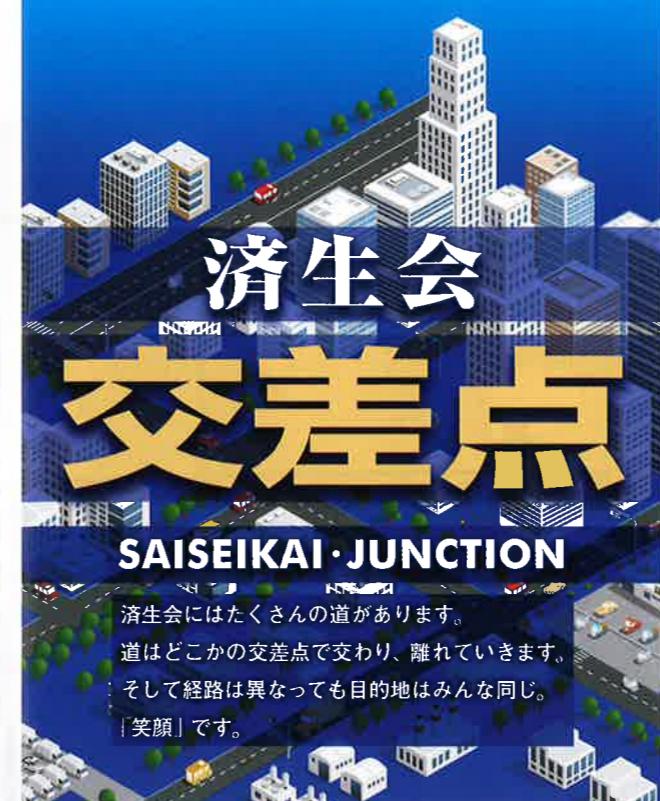
や医療クラークの勉強会を開催。正しい知識を持ち適切にアドバイスすれば、禁煙のきっかけが生まれ、より良い支援につながると考えたか

らです。勉強会後のアンケートでは、「禁煙を継続するポイント」「禁煙することのメリット」など、ほとんどの項目の知識・理解度が改善(図2)。翌年の禁煙外来の患者数は2倍に増えました。

図1 禁煙外来受診の動機



患者と二人三脚の禁煙治療



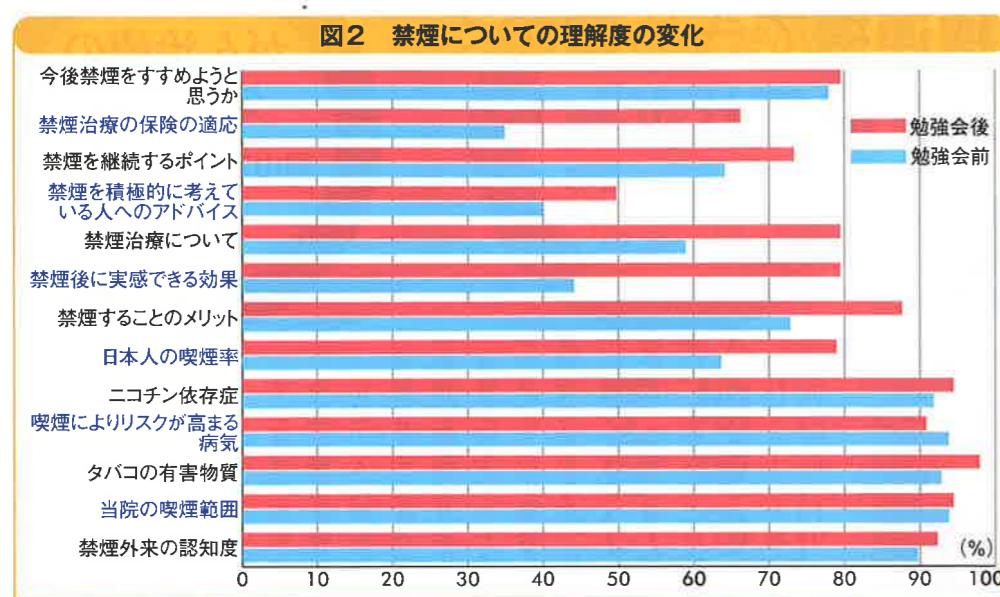
交差点

SAISEIKAI・JUNCTION
SAISEIKAIにはたくさんの道があります。
道はどこかの交差点で交わり、離れていきます。
そして経路は異なっても目的地はみんな同じ。
「笑顔」です。



禁煙外来のメンバー（後列中央が筆者）

看護師は、既往歴・生活背景を詳細に聞き取り、ハイリスクな喫煙場面が生活のどこで起こっているのかを患者さんと共に考えます。朝の喫煙が習慣の人には起きてすぐの歯磨き、食後にはタバコではなく熱いお茶、休憩時間には散歩や体操などを勧め、喫煙行動を日常の別の生活習慣にシフトさせていきます。治療のモチベーションを保つため、話し合いの中で患者さんは自身に対処法を選択してもら



禁煙外来の初診ではニコチン依存症や治療薬を説明

禁煙外来の受付では、治療を終えた患者さんは「たばこ吸つてないよ！」と笑顔でうれしい声をいただくことがあります。禁煙チームはそれを励みに、日々より良いサポートを目指しています。



健康教室で講演する循環器内科・渡辺浩毅副院長

基づく継続支援の二つの仕組みづくりが目標です。例えば、治療薬を使った禁煙への患者さんの不安軽減に関し薬剤部と情報交換するなど、他職種との連携促進で禁煙成功率を向上させること。

禁煙外来の実施日を増やし、3カ月の禁煙プログラム終了後も禁煙状況確認の声かけを続けるなどストレスなく継続できる支援方法も検討中です。

禁煙外来の受付では、治療を終えた患者さんは「たばこ吸つてないよ！」と笑顔でうれしい声をいただくことがあります。禁煙チームはそれを励みに、日々より良いサポートを目指しています。



EPA介護福祉士候補者は、日本とインドネシアの経済連携協定に基づき2008年から受け入れが始まりました。ながまち荘は、日本の優れた介護技術をインドネシアの高齢化に役立てる国際貢献と、外国人への指導過程が当施設の介護の質の向上にもつながると考え、翌09年に山形県内では他に先駆けて受け入れを開始。これまでに10人を受け入れ、現在は6人（介護福祉士2人、EPA介護福祉士候補者1人、同候補者4人）が在籍しています。

現場の実務教育、国際厚生事業団の学習支援プログラムのほか、独自に外部講師による日本語学習や、EPAの語学習や国家試験対策講座も実施しています。こうした中、当施設の紹介でEPAの受け入れ先となった特養みどりの大地（新庄市）から「一緒に勉強する機会を」と要望がありました。候補者同士が刺激し合って学習効果がより高まるところまで、2020年7月から毎月、合同学習会

地域の一員として迎え手厚いサポートで人間力も培う



語学習や国家試験対策講座も実施しています。こうした中、当施設の紹介でEPAの受け入れ先となった特養みどりの大地（新庄市）から「一緒に勉強する機会を」と要望がありました。候補者同士が刺激し合って学習効果がより高まるところまで、2020年7月から毎月、合同学習会



ベッドサイドで栄養食事指導

電子レンジ調理なども紹介。退院後も安心して療養できるよう、電話相談にも応じています。

日々の学びを 次のサポートに生かす

化学療法センター・がん相談支援センターとも連携し、化学療法による食欲不振・口内炎・味覚異常などの副作用相談も受け付けています。

ある日、大腸がんの女性患者

は、ほかの患者

さんから「調理で疲れて食事できついし腸が詰まりやすいので、消化の良い食事を」と相談がありました。レトルト介護食などを紹介したところ、「年寄りのようで嫌」と表情は暗いま

そこで薄味で高栄養価の市販離乳食を提案すると「これはいいわ。孫によく食べさせて知つているし」と前向きに変化しました。

このようにうまくいった支援

は、ほかの患者さんにも食事のコツとして伝えています。今後も、最新の医療・栄養情報をいち早くキャッチし、患者さんに寄り添い、頼りになる管理栄養士の活動に努めます。



筆者

多職種連携できめ細かくがん患者の食を徹底サポート



をゼリーやシャーベットにしたり、豆腐・茶わん蒸し・佃煮などと一緒に添えたりして、飽きず

に食べられる栄養強化法を提案し、体や気持ちを整えて治療に備えてもらいます。

患者さんに的確なアドバイスができるよう、医師・看護師などと一緒に栄養補助食品の試食会も実施。最近はおいしくて太る会。食に関する共通認識を持ち、治療に難渋する事例の



は、好きな物や食べやすい物を調整し、食べやすい献立や盛り付けを工夫。病態別の献立も陶器やガラスの器で提供しています。

退院前にはご家族も一緒に栄養食事指導を行ないます。調理さえつらいときもあるので、市販食品の組み合わせ方、手軽な

がん治療の栄養管理

岡山済生会総合病院
栄養科
大原秋子

栄養科では、「食べることは、ただ栄養をとり入れるだけではなく、楽しみの一つである」と、大切に考えています。特にがんの手術や化学療法を控えた患者さんは、入院前から治療と体力維持目的の栄養改善が必要で、多職種が連携しサポートします。

体重が減少すると予定の治療が完結できない場合もあり、体重管理は重要な鍵です。5%以内の減少に収めるよう、体重・筋肉量・体脂肪量・握力などを基に、患者さんごとに食事量や食べ方の工夫をお話しします。

それで不十分な場合は栄養補助食品を紹介。ドリンクタイプ

を開催しています。

個々の日本語能力やミスの傾向、学習姿勢・意欲、疲労度合や悩みなどが見えやすい少人数の対面授業で、講師と研修担当者が情報共有し運営。みどりの

大地から2人、当施設は最大6人が参加し、入国年ごとの日本語レベルの違いに合わせて講師が用意した「やさしく学べる介護のことば」などのテキストで和気あいあいと学んでいます。

外国生活の不安は同郷スタッフがサポート



学習面以外で重要なのはメンタル面のフォローです。日本語がつたないゆえの悩みを抱え込まないよう、産業カウンセラーのほか生活支援担当のインドネシア人外部スタッフを毎週招き、何でも気軽に相談できるようになっています。また、介護福祉士資格を取得した先輩EPA職員の日ごろからのサポートも心強い限り。こうした環境で働くインドネシア人スタッフは日上を敬う国民性でもあり、利用者さんご家族から「優しくていいね」と好評です。

国籍を越えた共生が目標

私たちの最終目標は、介護福祉士合格後の彼らが「単なる労働力」ではなく「地域住民」として、国籍を越え助け合い共生できる社会をつくること。そのためにもコミュニケーション能



合同学習会では日本語を中心に学習

当施設では3人が介護福祉士国家試験に合格、1人は帰しましたが、2人は当施設で活躍中です。2019年に合格し正職員になつたアンガさんは翌20年9月末までの1年間、山形済生病院に出向。最新医療と医療・介護の連携を現場で学び、当施設に戻つてきました。20年に介護福祉士の正職員となつたアグスさんは、自動車免許を取得。県内外のEPAを受け入れ施設を車で回り、自身の経験を

もとに後輩を支援しようと準備中です。今後もEPA候補者の思いに応える支援に努めます。



丁寧な食事介助で利用者さんは笑顔



子どもたちが安心して治療を受けられるよう診療所内はカラフルな内装

365日、地域一丸で子どもの命を守る

小児救急医療

〈埼玉〉
川口総合病院



川口市こども夜間救急診療所は、鳩ヶ谷庁舎別棟の1階に開設

川口市は2020年4月、「川口市こども夜間救急診療所」を開設しました。1992年、人口40万人の市内に小児病棟を有する病院は4カ所、そこに勤務する小児科医が合計20人という川口総合病院は市や市医師会に設置を提案。約30年待ち望み、ようやく実現しました。

こども夜間救急診療所は、都内の大学病院から派遣された医師が、市医師会と連携、年中無休で初期救急医療を実施しています。

川口総合病院は市や市医師会に設置を提案。約30年待ち望み、ようやく実現しました。

こども夜間救急診療所は、都内の大学病院から派遣された医師が、市医師会と連携、年中無休で初期救急医療を実施しています。

医師会と病院が二人三脚で小児医療の充実に尽力

2004年、新医師臨床研修制度の開始で、大学病院が医師が輪番制で診療しています。

医師会の入院先は当院を含む3病院に減少。このとき医師会有志が平日19～23時の夜間診療を各診療所で開始、病院勤務医を応援しました。その後2015年ごろをピークに小児人口は減少に転じましたが、小児救急体制は脆弱なままでした。その中で、埼玉医科大学川越医療センターや県立小児医療センターが、相次いでPICU（小児特定集中治療室）を開設、極めて重症な子どもの受け入れ先が充実しました。

小児救急にとつて長い冬の時代でしたが、この間に数少ない小児科医と施設で地域の子どもに医療を提供するノウハウが培われ、こども夜間救急診療所立ち上げにも生かされました。

例えば、各診療所では、可能な限り平日の日中に、重症化しそうな子どもを病院に紹介する取り組みを継続。疾病を抱えて地域で暮らす子どもたちは、市内のがん病院小児科医が健康管理し、救急した際も判断に迷わないよう努めます。輪番制を組む3つけ患児が救急受診した場合は、病院は、満床時の入院を融通し合うなど連携し、他院のかかりつけ医が救急受診した場合は、患者さんの希望に沿つて翌日に転院してもらう柔軟な対応を行なっています。

市内の診療所医師と病院勤務医は20年以上も研究会などで交

診療所と病院の交流で持続可能な小児救急が確立

医は20年以上も研究会などで交

流を重ねて深く理解し合い、共に小児医療の質の向上に努めています。こども夜間救急診療所の派遣医集めでも、都内大学病院に太いパイプを持つ診療所医師が勢力的に動いたことで、強力な陣容がそろいました。

こども夜間救急診療所の開設で、市民の身近な場所に持続可能な小児の一次救急・二次救急が整備でき、背後にはPICOという高次医療が控えた立体的な小児救急システムが確立。当地に住む子どもたちに大きな安心をもたらしたこの仕組みの一翼を、川口総合病院が担っています。

原澤一也

済生会の職員の皆さんへ

団体扱自動車保険のご案内



本制度は職員の皆さんで、支えていただく制度です。たくさんの方が加入することにより割引率が拡大します。
ご加入状況によっては、最大50%^{※2}割安となる可能性もあります。是非、ご加入を検討ください。

※1 団体扱分割払は一般契約と異なり分割割増がかかりませんので、約5%割安です。団体扱年一括払は一般契約年一括払に比べて5%割安です。

※2 済生会団体扱自動車保険の加入契約台数と損害率に応じて毎年算出され変動する場合があります。

・この広告は団体扱自動車保険の概要を説明したもので

・詳細につきましては取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

・団体扱自動車保険にご加入いただけるのは、ご契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。

【お問い合わせ先代理店】

損保ジャパンパートナーズ株式会社

大宮カスタマーサポート室

TEL : 0120-625-010 FAX : 048-640-3642

埼玉県さいたま市大宮区大門町3-42-5 太陽生命大宮ビル10階

(受付時間:平日9:00~17:00/土・日・祝日は休業)

【引受保険会社】

損害保険ジャパン株式会社

医療・福祉開発部第一課

TEL : 03-3349-5113

東京都新宿区西新宿1-26-1

資料請求・お問い合わせの際は、お名前、
ご連絡先、勤務先支部、施設名を記載お願
いします。



契約者および被保険者は、
損保ジャパン公式ウェブサイト
(<https://www.sompo-japan.co.jp/>)
に掲載の個人情報の取り扱いに同意します。

(SJ20-11321 2020.12.11)

なでしこナースの
ストーリー

#114 「ゆつくり」話す

糖尿病看護認定看護師を目指して実習していたときに出会った患者さん。食事内容に加え、適度な運動をしていること、そして、1日3回、食事前のインスリン注射を欠かさず行ない、測定結果も必ず記録していると私に話してくれた。

忙しい実習の日々の中では、患者さんの話から、生活習慣に問題はなく、自己管理ができていると判断し、「検査数值がもう少し下がるといいですね」と話

し立ち去ろうとした。すると患者さんは、「下がるってどのくらい?」「これではやっぱりダメなのね!」と怒り気味に言い放つと、「本当は頑張っていない……」と泣き出してしまった。

私は患者さんの話をゆつくりと聞くと、「良い患者と思われたいから血糖値も適当な数字を書いた。ご飯も適当……」と打ち明けてくれた。そして、話を聞いてくれてうれしかったとも話してくれた。

その後の診察では、医師に真実を話し、改めて治療を頑張ると約束してくれた。

私は、患者さんの病状を検査結果だけで判断していたと気づかされた。患者さんやご家族は、医療者と「ゆつくり」話をすることを望んでいる。患者さんとの信頼関係は、コミュニケーションをしっかりとることで生まれる。これからも患者さんと「ゆつくり」話す機会を作るように心がけたい。(静岡・病院)



写真と筆者は異なります

投稿募集：ご自分のことやまわりで見かけた、「ナースのちょっといい話」を募集しています。笑える話も大歓迎。原則として500字以内。匿名(謝礼送付の関係から応募は実名)で、法人ホームページにも転載されることがあります。広報室ナース係へ(メール:koho@saiseikai.or.jp 手書きの場合は郵送またはFAX 03-3454-5576)。

SAISEI | 2021 FEBRUARY 16

も印象的で、防災意識の大切さを感じました。

機関誌済生・デザイン
OVO INTERNATIONAL 大谷・清水

「口福にっぽん」執筆 吉井省一

④OVO・吉井賞
10月号・大雑報
「口福にっぽん」で癒やされてます」

山口地域ケアセンター

総合企画課 緒方史朗

選考のことば



おいしそうにデザートを食べている写真から、業務の合い間のひとときの楽しそうな様子が伝わってきました。大雑報を通して読者の反応を知ることができて良かった!! 筆者の食レポも秀逸です。

機関誌済生・印刷
(株)白橋社
代表取締役社長 白橋明夫

選考のことば

「口福にっぽん」で癒やされています」

白橋賞
1月号・大雑報
「偵察のつもりが……」



選考のことば
「飯塚嘉穂病院のフェアをひそかに見学しようとしたが、家族全員がおもいっきり楽しんだ!」というイベント。私も参加してみたかったと思える記事でした。



簡易防護服などを寄贈した職員のご息（右）

ポリ袋などで作った簡易防護服とナイロンキヤップのセット100組を、4月28日に寄贈していただきました。当院の看護師のお子さんが「病院の医療資源が不足している……」と母親から聞き、作り方をインスタネットで調べて、約1カ月かけて作り上げてくれたものです。

その子は「命を守ることの大切さを知り、人のために働きなさい」と幼いころから教えられ、何か手伝えることないかと考へて、簡易防護服作りを思い立ったそうです。寄贈品に添えられた手紙には、現場の最前線で働く医療従事者への感謝の気持ちがつづられていました。

このほかにも、多く



職員の感染確認から20日後の3月4日、全業務再開となり病院玄関前で「安全宣言」を行なう伊藤院長（当時）。全国からメディアが押し寄せた

有田病院は国内で初めて新型コロナウイルスで有名になつた病院と言つて過言ではないでしょう。そして、当院が新型コロナを封じ込めたことで、その対応は「和歌山方式」と呼ばれ、県が積極的に行なつたPCR検査が評価されています。PCR検査は重要ですが、患者の陽性率はそれほど高くなく、私は当院を3週間完全閉鎖したことが最大の効果を生んだと考えています。

マスクの取材は全てお断りしてきましたが、済生会広報室の要請を受け、私のメモの一部を公開します。

2月13日（木）

支部理事会を終え帰宅。19時ころ、「肺炎で他病院に入院していた当院外科医のPCRが陽

受賞作品再掲載

掲載時は、写真の大きさなどレイアウトを変更しています。また一部記事は抜粋しています。

①炭谷賞

4月号掲載

山口総合病院

誰もが
働きがいのある職場へ

当院では、障害をもつ職員がより良い職場環境で働けるよう、「人事課プラスワン」を2016年7月に設置。今では、専任の指導員1人（身体障害）、スタッフ5人（知的障害4人、精神障害1人）が在籍し、院内関係

部署に検体や伝票の運搬などを行なっています。

最近、特に力を入れているのは、新型コロナウイルスの感染対策。これまでインフルエンザ対策の消毒活動をしてきましたが、彼らは「自分たちができる限りのことをしたい！」と、毎日2時間かけてドアノブや待ちソファー、てすり等を消毒しています。

当院では、市内の特別支援学



の皆様から医療物資等の寄贈をいただいています。病院や私たちは、新型コロナウイルスの感染対策の消毒活動をしてきましたが、彼らは「自分たちができる限りのことをしたい！」と、毎日2時間かけてドアノブや待ちソファー、てすり等を消毒しています。

当院では、市内の特別支援学

校に通う生徒さんの社会に出て、働く不安や疑問を取り除くため、大いに活躍してくれることを期待します。（人事課 遠山 純）

②松原賞

6月号掲載

滋賀県病院

職員の子どもの手作り
100組の防護服と
ナイロンキヤップ

滋賀県病院

謝でいっぱいです。

（済生記者 西澤真由美）

③伊藤賞

6月号掲載

和歌山県済生会 支部長
有田医療福祉センター 総長
(当時院長)

伊藤秀一

国内初！ 医師の感染が判明
その時、有田病院で何が？！

伊藤秀一

ち職員に向けられた県民の温かな思いやりの心に、職員一同感

謝でいっぱいです。

（済生記者 西澤真由美）

和歌山県済生会 支部長
有田医療福祉センター 総長
(当時院長)

伊藤秀一

の皆様から医療物資等の寄贈をいただいています。病院や私たちは、新型コロナウイルスの感染対策の消毒活動をしてきましたが、彼らは「自分たちができる限りのことをしたい！」と、毎日2時間かけてドアノブや待ちソファー、てすり等を消毒しています。

当院では、市内の特別支援学



選考のことば
「飯塚嘉穂病院のフェアをひそかに見学しようとしたが、家族全員がおもいっきり楽しんだ!」というイベント。私も参加してみたかったと思える記事でした。

な協力をいただき、本当にありがとうございました。（総務課 道前久枝）

⑤ 桶口賞 5月号掲載

心ない言葉も
あるけれど
地域の温かさ
実感できた

〈岩手〉陸前高田診療所

毎週、交代で診療応援に来て
くださっている医師のうちの一
人が検査で陽性だったことが分
かった。先生はマスクを着用し
感染対策をしていたため診療所



（神奈川）わかくさ保育園

岩手県は全国唯一の感染確認
者ゼロ県（4月24日時点）のこ
ともあり、新聞、テレビで大々
的に報道されました。診療所と
縁のなかつた人たちからはお叱
り、縁のある方々からは「丈夫
か?」「みんなの体調と心は
大丈夫?」と、いたわりと励ま
しのメッセージをたくさんいた
だきました。

スタッフの家族は出勤や登校
ができなかつたり、心ない対
応に傷ついたりすることもあり
ました。しかし、いつもと変わ
りなく受診に来てくださる方は、

寒い中、換気する時も「他も換
気してるよ。寒くないから大丈
夫。風を通すと気持ちいいね」と
笑顔で話してくれます。私たち
も、仕事ができること、患者
さんとお話しできることに、喜
びと感謝を改めて感じています。
地域の方がマスクを持ってきてく
れたり、山菜を差し入れてくれ
たり。そのたびに地域の皆様
に支えられていることを実感し
ました。（看護師 麻生エミ）

多目的な防災訓練

7月15日に防災訓練を行ない
ました。自然災害と同時に感染
症・熱中症予防の視点も盛り込
み、園児50人、職員19人が参加
しました。

当園は海の近くに立地してい
るため津波を想定、より高いと
ころへ避難します。2階への移
動では3密に注意。間隔を空け、
対面にならないよう座ります。
「しゃべらない」ことを守り、
子どもたちはヘルメット・ライ
フジャケットに加えフェイスシ
ールドを着用。職員はヘルメッ
ト・マスク・アイシールド。緊
迫感を持ちながらのケアは予想
以上に大変でした。

ヘルメットとフェイスシール
ドの同時装着には課題があり、
クッショング入り帽子等を検討中



です。涼しくなるようアイスノ
ンを床に置いたり、体を冷やす
ためアイスのお楽しみがあつた
いました。これからも新たに
チャレンジを積み重ねていきま
す。（済生記者 本倉美穂）



介護福祉士の試験合格



日本語検定1級という次なる
目標に向かって活動したアグスくん。
私たちも今後も彼を応援してい
きます。

（生活相談員 奥原 信）

いつも心にユーモアを！

最近、「かつたやりにつかな
あ～！」（どうもやりにくくな
った）と、受付で苦笑いの患者
さん。マスクを着けて、ビニ
ルのれん越しでのやり取りとな
ると、声は聞き取りにくく、表
情も読みとりづらい。意思疎通
に不便を感じるのは当然です。

その患者さんは、「おい（僕）



ミュニケーションを心がけたい
です。（鹿児島・川内病院 竹之内美和）

当施設から3人目の
EPA介護福祉士
合格者

（山形）特養ながまち荘

⑦ 森本賞 5月号掲載

当施設から3人目の
EPA介護福祉士
合格者

第32回介護福祉士国家試験の
合格発表が3月25日に行なわれ、
当施設のEPA介護福祉士候補
者のアグス・トリヤント介護職

員が合格しました。

県内のEPAに基づく外国人
合格者は、これまで全て当施設
からで彼が3人目。今回も東北
地方で唯一の合格者です。

アグス介護職員は2015年、
昨年合格したアンガ・ルスマヘ
ンドラ介護職員とともに来日。

昨年は合格点にわずかに届かず
涙をのみましたが、その悔しさ
をバネに仕事をも学習にも励み、
今回のうれしい結果に。
プライベートでは、母国イン
ドネシアに生活費や学費を仕送
りするなど、亡父に代わって家
族を支えてきました。昨年12月
には妹さんも当施設に入職。今
後は兄の背中を追い頑張つてく
れると期待しています。

（鹿児島）川内病院

⑧ 松岡賞 6月号掲載

いつも心にユーモアを！

日本語検定1級という次なる
目標に向かって活動したアグスくん。
私たちも今後も彼を応援してい
きます。

（生活相談員 奥原 信）

最近、「かつたやりにつかな
あ～！」（どうもやりにくくな
った）と、受付で苦笑いの患者
さん。マスクを着けて、ビニ
ルのれん越しでのやり取りとな
ると、声は聞き取りにくく、表
情も読みとりづらい。意思疎通
に不便を感じるのは当然です。

その患者さんは、「おい（僕）

とおはん（あなた）はロミオと
ジュリエー（恐らくジュリエット
だとと思う……）！離されても
想いは伝わる」と言いました。
このところ、人との距離感を
失礼にならないように保つには
どうしたら良いのか——おつか
なびっくりの日々ですが、のれ
ん越しにもはつきりわかる患者
さんの笑顔に緊張がほぐれまし
た。

こういう時だからこそ、自分
と相手を癒やし、癒やされるコ
ミュニケーションを心がけたい
です。（鹿児島・川内病院 竹之内美和）

〈大阪〉吹田病院

がんばろう! 済生会



「必死でがんばる同じ済生会の職員を何とかして応援したい！」済生会京都府病院の職員の思いが全国に広がっています。すでに一生懸命頑張っている職員のみなさんに「がんばろう！」は酷な言葉かもしませんが、わたしたちは共に仲間です。

がんばろう！
済生会

岡山済生会看護専門学校

3年生は、2月14日の看護師国家試験に向けて、ラストスパート！試験勉強に取り組んでいます。受験の不安に加え、コロナに「感染しない」「感染させない」という緊張感もあり、学生のストレスは計り知れません。3月には全員合格し、笑える日が来ることを願うばかりです。そして、4月からは岡山や東京の済生会などで看護師として勤務する予定。日夜、懸命に働くでいる医療従事者の力になってくれることを期待します。

(岡山済生会看護専門学校 副校長 宮崎真希)



免疫機能で日本初※の機能性表示食品、「キリン i-MUSE レモン500ミリリットルペットボトル24本入り」を抽選で10名様にプレゼント致します。
応募方法はメールで広報室へ。
申し込みは2月末まで。当選は発送をもってかえさせていただきます。当選者の方の個人情報は景品発送後速やかに破棄致します。
「キリン i-MUSE シリーズ」は、プラズマ乳酸菌の働きで健康な人の免疫機能の維持をサポート。水分補給しながら体調管理に役立つ飲料です。
お申し込み、お待ちしております。
提供：キリンビバレッジ株式会社
<https://kirinproducts.jp/softdrink/>

※ 2020年9月 機能性表示食品の届出情報検索を用いた同社調べ



キリン「i-MUSE」
プレゼント！

山口総合病院



〈福岡〉大牟田ライフケア院

がんばろう!
済生会



広報室に写真を 「がんばろう! 済生会」はつづく

全国済生会の皆さん、ぜひ仲間たちに写真メッセージを送ってください。広報室が今後、エールを中継していきます。
(自分たちで工夫した、違うことば、違うデザインのパネルも可、です)

〈愛媛〉松山老健にぎたつ苑





済生会はソーシャルインクルージョン推進計画を策定しました。
無料低額診療もなでしこプランも、この中に含まれます。
だれも排除されないまちづくりを目指し、
全支部・施設が1541事業を展開します。

食糧支援事業をスタート。2カ所のフードバンクへ提供



〈三重〉明和病院

明和病院は、なでしこプランの一環で、生活困窮者への食糧支援事業を昨年末から開始。12月22日と24日はフードバンクISEへ、23日はフードバンク松阪に対し、職員に呼び掛けて集めた余剰食材やカップ麺491個と日用品33個、当院で備蓄する白飯・おかゆなど1900食を提供しました。



両フードバンクとも、過剰食料や寄付食料などの回収活動や、支援団体や生活困窮者活動などに取り組んでいる団体です。

24日には、支援対象の外国人に直接手渡すことができ、「少しでも支援いただけたと、とても助かる」とお礼の言葉をいただきました。フードバンク松阪からも「たくさん支援いただきありがとうございます。仕分け作業も楽しくできます」と感謝されました。

(済生記者 石田真央)

宇都宮病院は「フードバンクうつのみや」と相談し、昨年10月に続く2回目の「学生応援食料支援会」を1月16日に実施。6日に、宇都宮市全域に緊急事態宣言が発令されたため、宅配便で配達しました。



(地域連携課 秋山綾香 職員からの寄付)

コロナ禍の中でも いのちをつなぎたい

〈栃木〉宇都宮病院

外に、県保健福祉部、市保健所、市社協、報徳会宇都宮病院などが協力して行ないます。

地域の相談窓口が一同に参加し、ワンストップで相談に応える、顔の見える支援体制です。荻津守参与は「行政・民間・地域がしっかりと連携してこそ、本来の地域力が發揮できる。済生会地域包括ケア連携士が縦割りの仕組みを横断的にコーディネートすることで実現し、ソーシャルインクルージョンになると信じて実践している」と話しています。



(地域連携課 秋山綾香 職員からの寄付)

東北・北海道ブロックで、無低後も見据えた支援を学ぶ

山形清生病院

東北・北海道ブロック
MSW等研修会を、12月12日
日にリモート形式で開催し
ました。

第2回となる今回は「無

料低額診療事業対象者に対
する自立助長の支援」をテ
ーマに、各病院の現状や課
題を共有しました。

後半は、家計改善支援の
第一人者であるグリーンコ
ープ生活協同組合連合会・
行岡みち子生活再生事業推進室
長を講師に招き、「生活困窮者
におけるソーシャルワーカー家



計改善支援から見る無料低額診
療事業の脱却支援」を聴講。
家計改善支援について学びまし
た。

無低事業の対象者は生活困窮
を理由に、事業を長期的に利用
する実態があり、その後の自立
支援も求められます。その実態
に即した事例検討やグループワ
ークも行ない、家計改善の視点
からの経済的自立と生活基盤安
定化に向けた支援について、参
加者と有意義な意見交換もしな
がら理解を深めました。

コロナ禍で生活困窮者の増加
が見込まれるいま、無低事業の
拡充や自立助長の継続的な支援
に努めます。

(医療福祉相談室
MSW 齋藤美咲)

山口地域ケアセンターが20

催しました。

今年度はコロナ禍で実施
が危ぶまれましたが、法務
省関係機関の協力で研修は
無事に終了。閉講式では、
当センターの中村洋所長が
修了証書を授与し、山口刑
務所の田渕秀樹所長の訓示
の後、受講者代表が答辭を
述べました。

講義を担当した当センタ
ーの安武俊輔名誉院長は
「答辭は素晴らしい文章で、きつ
と根は眞面目で賢い人だと思
い述べました。

「答辭は素晴らしい文章で、きつ
と根は眞面目で賢い人だと思
い述べました。



ます」と感動しきりでした。
修了生は出所後、資格を取得
し介護福祉士として活
躍することが望まれま
すが、社会的排除や孤
立などの困難な問題も
立ちはだかります。そ
うした中で、「社会の役
に立ちたい」という言
葉を答辭で聞き、その
思いを消すことのない
継続したサポートの大
切さを強く感じました。
(済生記者 西川愛子)



新型コロナウイルスとの戦いの記録



大隅支社長（左）と炭谷理事長

米国デルタ航空から「新型コロナと闘う皆さんへ」とジュースの寄贈を受けたお礼に、済生会の炭谷茂理事長は1月12日、東京・港区の同航空日本支社を訪れ、大隅ヴィクトー支社長に感謝状を贈りました。

炭谷理事長は「航空業界も大変なのに心苦しいかぎりですが、いただいたジュースで病院

職員は一息ついてリフレッシュできました」と謝意を表しました。大隅支社長は「従業員それがコミュニケーションの中でできることはいか考えていましたが、自分たちにもお手伝いができることがあると再認識できたのではないかと思います」と応えました。

同支社は昨年5月、機内サービス用の果汁100%ジュース（1リットル紙パック6本入り111箱）を〈東京〉中央病院など5病院に寄贈しました。

（広報室）

デルタ航空に感謝状

済生会本部



なでしこ出前健康講座を12月17日、金沢市内の公民館で開催しました。

出前講座で感染対策を啓発

〈石川〉金沢病院



天候の中、集まつた19人の参加者は熱心にメモを取りながら聴講。自身の手の見えない汚れを測るATPふきとり検査では、手指消毒後に数値が下がったのを目の当たりにして歓声が。実生活に即した感染予防を実感いただけました。

今年度はコロナ禍の影響で実施を見送った期間もありましたが、12月までに延べ12回の講座を開催し、地域の感染予防に寄与できました。

コロナ禍で感染症対策と予防に関する講座の依頼が多く、今回は「感染対策で新たな生活様式で暮らす・自分も家族も仲間も守ろう」をテーマに開催。感染制御実践看護師の浦島ひとみさんが講師を務めました。

手指消毒・体温測定・換気を徹底し、小雪が舞うあいにくの

（済生記者 山川友和）

〈大阪〉吹田病院 洲合、國松両看護師をコロナ重症センターへ派遣



本表彰は2019年から実施し、今回は「COVID-19感染症に対する院内感染防止策構築への尽力」を称え、感染対策室の森重祥子副看護師長を表彰。一井眞比呂支部長が表彰状と記念品を授与しました。

個人用防護具が不足する中、



左より森重副看護師長、一井支部長、若林久男院長

吹田病院は2人の看護師（洲合ひとみ主任、國松敬介急性・重症患者看護専門看護師）を派遣済みで、國松看護師は2月1日から28日まで派遣予定です。同センターは、新型コロナ重症病床の不足に対応するため、駐車場に府が整備したもの。看護師確保が喫緊の課題となつて

いた中で、当院は大阪府看護協会の要請を早々に受諾しました。「現場に行かなければわからぬことも多い。これも学びの機会と捉え、経験を病院に持ち帰つて伝える役割も私たちは担っている」「所属部署の負担が増えすにも関わらず、皆さんが快くご家族も本人の意思を尊重し、後押ししてくれたことに感謝している」と両看護師。

ごく自然に「自分が行かなければ」と話してくれたことが、とても印象的でした。（済生記者 橋本 茜）

森重さんは自ら防護具を作成し現場へ提供。感染管理認定看護師としての知識と経験を生かし、コロナ疑い患者さんへの適切な対応や、院内感染防止なども率先して取り組みました。「自分一人で成し遂げられるものではなく、皆さんの力添えがあつてこそ。短期戦ではなく長期戦となり、終息の様子は見えませんが引き続き尽力します」と話していました。

香川県済生会病院 新型コロナ対策で森重副看護師長を表彰



他の職員の模範となる功績を挙げた職員の表彰式を12月16日に行ないました。

彰式を行なった。

（総務課 西山汐里）

ば」と話してくれたことが、とば」と話してくれたことが、と

ても印象的でした。

（済生記者 橋本 茜）

森重さんは自ら防護具を作成し現場へ提供。感染管理認定看護師としての知識と経験を生かし、コロナ疑い患者さんへの適切な対応や、院内感染防止なども率先して取り組みました。

「自分一人で成し遂げられるものではなく、皆さんの力添えがあつてこそ。短期戦ではなく長期戦となり、終息の様子は見えませんが引き続き尽力します」と話していました。

オンライン面会が テレビに

〈福岡〉大牟田病院

KBC九州朝日放送の情報番組「シリタカ！」が12月21日、新型コロナ感染防止対策で実施するオンライン面会（本誌11月号掲載）の取材に訪れました。



異常を検知すると、警告音とともに事務室内のランプがフラッシュ発光



者さん、職員、委託業者さんなどを検温。測定結果はモニターに表示され、37・5℃以上の場合は警告メッセージと警笛音が鳴る仕様です。事務室でも遠隔でモニター画面を閲覧可能で、異常を検知した際は壁付け設置の子機が、警笛音とフラッシュ発光で知らせてくれます。

これにより、コロナ感染者を早期発見することが可能となり、鳴る仕様です。事務室でも遠隔でモニター画面を閲覧可能で、異常を検知した際は壁付け設置の子機が、警笛音とフラッシュ発光で知らせてくれます。

中学生から 2度目のエール

〈福岡〉飯塚嘉穂病院

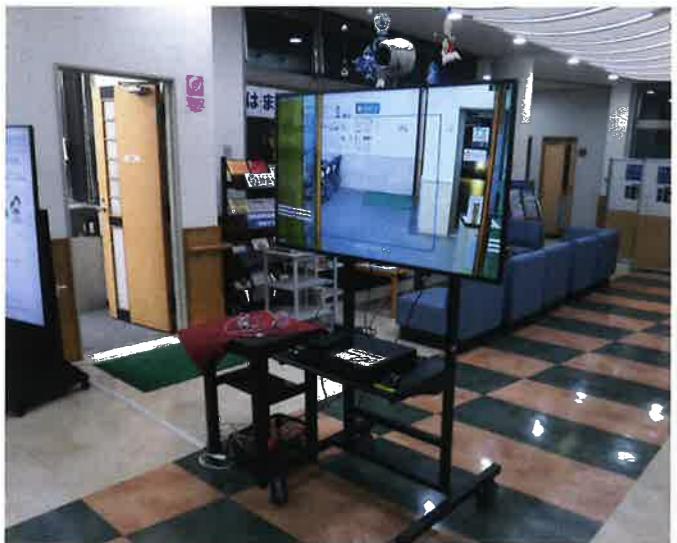
地元・桂川中学校の一木翔太先生が12月24日、3年3組生徒一同の代わりに、コロナ対応で頑張る当院スタッフに感謝のメッセージを届けてくれました。

「コロナ禍の最前線で働く医療従事者に感謝の気持ちを伝えよう」というメッセージを、昨年5月にも同校生徒からいただいており、2度目のエールです。

今回は人権学習後の生徒さんが提案し実現したこと。メッセージを見た職員は、「受験勉強中に、こんなに丁寧に書いてくれてうれしい」と感激。新型コロナが猛威を振るう中、ずっと応援し続ける地元中学生に、職員一同感謝しています。

いっぱいです。

（済生記者 松岡重希）



に表示され、37・5℃以上の場合は警告メッセージと警笛音が鳴る仕様です。事務室でも遠隔でモニター画面を閲覧可能で、異常を検知した際は壁付け設置の子機が、警笛音とフラッシュ発光で知らせてくれます。



施設内感染やクラスターの発生防止につながると期待しています。導入後は職員や利用者さんから「安心感が増した」との声も上がるなど、早くも成果を得ています。

（事務長補佐 松本 大）

オンライン面会は毎日2～3組行なつており、取材に協力いたげるご家族との面会場面をテレビカメラが撮影。記者に想像を求められたご家族は、「このような取り組みをいろいろな人に広く知つてもらいたい」と

組行なつており、取材に協力いたげるご家族との面会場面をテレビカメラが撮影。記者に想像を求められたご家族は、「このような取り組みをいろいろな人に広く知つてもらいたい」と



が報われる思いがしました。今村信子看護部長は記者からのインタビューで、オンライン面会を始めるきっかけや、患者さん・ご家族の反応などを話していました。この模様は同日18時15分からの番組の中で放送されました。

（済生記者 中村 博）



が提出されたこと。メッセージを見た職員は、「受験勉強中に、こんなに丁寧に書いてくれてうれしい」と感激。新型コロナが猛威を振るう中、ずっと応援し続ける地元中学生に、職員一同感謝しています。

いっぱいです。

（済生記者 松岡重希）

動画視聴で 感染症予防研修

〈山形〉特養愛日荘

研修マニュアル委員会は12月に、動画で自習してもらう感染症予防研修を実施しました。

コロナ禍のため集合研修は取りやめ。山形市保健所長・山形大学名誉教授の加藤丈夫氏が、YouTubeの山形市公式チャンネルで講話する「高齢者施設におけるウイルス感染症の予防」の動画を、職員個々に都合の良い時間・場所で視聴してもらいました。

動画は、新型コロナウイルスの特徴や予防方法、注意点などを

が述べられ、感染症予防の理解促進に役立つ内容です。視聴後は10問テストを実施し、基礎を復習してもらいました。参加しやすさから、研修後のアンケート回答数も大幅に増加。「感染症予防の意識付けになった」「あいまいだったところがしっかりと分かった」などの意見が寄せられました。

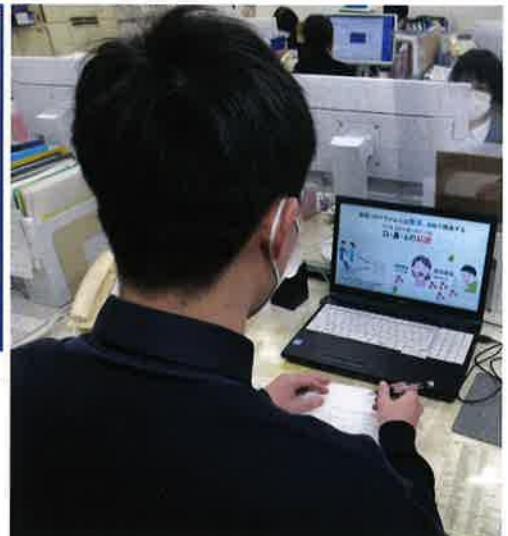
（済生記者 高橋 瞳）

JKA補助事業で サーマルカメラを導入

〈鳥取〉老健はまかぜ

競輪とオートレースの売上金の一部で、社会的課題の解決に取り組む「JKA補助事業」を活用して、新型コロナ対策の体温測定サーマルカメラを導入し、正面玄関に設置しました。

外部から出入りする通所利用



が述べられ、感染症予防の理解促進に役立つ内容です。視聴後は10問テストを実施し、基礎を復習してもらいました。参加しやすさから、研修後のアンケート回答数も大幅に増加。「感染症予防の意識付けになった」「あいまいだったところがしっかりと分かった」などの意見が寄せられました。

（済生記者 高橋 瞳）

が述べられ、感染症予防の理解促進に役立つ内容です。視聴後は10問テストを実施し、基礎を復習してもらいました。参加しやすさから、研修後のアンケート回答数も大幅に増加。「感染症予防の意識付けになった」「あいまいだったところがしっかりと分かった」などの意見が寄せられました。

（済生記者 高橋 瞳）

一貫してオリジナルにこだわってきた

映画監督・西川美和さんが、

初めて原案のある作品に挑戦。

原案小説にあるものすべてを



西川 美和

Miwa Nishikawa



Vol. 129



Text: みやじまなおみ
Photos: 安友康博

役所広司さんの俳優としての姿勢に感動。 「毎日が幸福な現場でした」

脚本に3年かけただけあって、
オリジナル作品を撮ると感覺
の違いはなかつたそう。
「ただし主人公は世間には滅多
にいないほどの真っ直ぐな人間。
私がこれまで描いてきた、ずる
くて嘘つきな人物たちよりむし
ろ演出のポイントは難しかった
です。しかし、それも役所広司
さんをキャスティングしたこと

で迷いは生まれませんでした」
役所さんは、実は監督が17歳
から恋焦がれてきた憧れの存在。
目前で芝居を見た感想をたず
ねると、次のように答えてくれ
た。

『まさにパーカクトですよ。
生まれたときから、その人で
しかなかつたんじやないか?』
と思いますし、書かれた台詞

通りにしか言われないので、
当人の実感としてその言葉
がふと出てきているように
聞こえてしまう。主演だけ
れど現場で目立つ振る舞い
もせず、映画づくりの歯車
の一つという姿勢でスタッ
フにも優しく、いつも肅々
と準備をされている。カメ
ラ脇でその地力と姿勢を見
ながら感動していました。

『すばらしき世界』

下町の片隅で暮らす短気ですぐカッとなる三上は、強面の見た目に反して優しくて真っ直ぐすぎて困っている人を放つておけない男。しかし彼は、人生の大半を刑務所で過ごした元殺人犯だった。何とか再生しようと悪戦苦闘する三上に若手テレビマンがすり寄り、ネタにしようと目論むが、三上の過去と今を追ううちに思いもよらないものを目撃していく。

■脚本・監督: 西川美和 ■原案: 佐木隆三著「身分帳」(講談社文庫刊)
■出演: 役所広司、仲野太賀、橋爪功、梶芽衣子、六角精児、北村有起哉、白竜、キムラ緑子、長澤まさみ、安田成美ほか

■配給: ワーナー・ブラザース映画
2021年2月11日(木・祝)全国公開

にしかわ・みわ 1974年生まれ、広島県出身。2002年、映画『蛇イチゴ』でオリジナル脚本・監督デビュー。その後もオリジナル作品にこだわり、海外での評価も高い。そこで『ディア・ドクター』のためのへき地医療取材をもとにした小説「きのうの神さま」、映画に先行して書いた同名小説「永い言い訳」は直木賞候補にも。原案小説のある初めての作品『すばらしき世界』の制作過程を綴ったエッセイ集『スクリーンが待っている』(小学館)が発売中。

きです(笑)」
ちなみに執筆の際は、没頭するため広島の実家で行なうことも多いとか。
「この年でお恥ずかしい話ですが、24時間そのことだけを考えていないと書けないので、70代の母に食事をつくらせ、洗濯をさせ。それでも煮詰まるところスポーツを觀ます。勝負には筋書きがなく、映画から遠い分、頭が空っぽになるんです。土地柄、野球はカープびい



© 佐木隆三/2021「すばらしき世界」製作委員会



吉井省一

肉には、カテキンとサツマイモ入りの飼料で育てた鹿児島産「茶美豚」の肩ロースを使用。そのジューシーな旨みを十分に引き出し、2種類のミンチを混ぜ合わせています。もちろん、キャベツや玉ねぎ、にんにくなどの野菜も国産です。



済生会の[病院・施設]がある
県内の市町村

神 福につぽん

な「マカロン餃子」は、使用している食材にもこだわっています。まず、餃子のキモとなるお

み込む皮には、石臼でひいた風味を豊かな粉を

使用し、強力粉・中力粉・餅粉それぞれの特性を生かしながらの手延べ仕上げ。サクッ、モチッの食感を大切にしています。

41

マカロン餃子

《大鳳餃子》

兵庫県神戸市

戸といえば、メリケンパークや異人館街など、歌の舞台にもよく登場するほどおしゃれな港町。ここで、餃子のイメージをがらっと変える、美しい彩りの餃子を見つけました。その名も「マカロン餃子」。マカロンなの? 餃子なの? というほど色鮮やかなオリジナル餃子をつくったのは、創作餃子の専門店「大鳳餃子」です。お店に行かなければ食べられなかつた人気メニューが、2019年からはお取り寄せでも楽しむことができるようになりました。

彩りがとても美しくて見えた日は洋菓子のよう

スイーツを思わせるカラフル



手延べの皮とこだわりの具の組み合
わせの妙は、さすが創作餃子の専門店

このように使う食材にこだわりながら、ひと工程ずつ丁寧に手作業で製造されている「マカロン餃子」は、見た目も味もバラエティ豊かな9種類。

調理の仕方は通常の餃子と変わりません。まず、フライパンに油をひき、餃子を並べて弱火で熱していくます。水をかけて火加減を

最強に。ふたをして、水分が無くなりだしたら中火にして、頃合いを見て弱火に。焼き面がこんがりきつね色になつたらできあがり。ごま油を加えると、より香ばしく焼き上がります。そうそう、小麦粉を薄めに水で溶いて蒸し焼きにすれば、今流行の「羽根つき餃子」だって楽しめますよ。

9種類の個性派餃子を食べくらべる楽しみ

「マカロン餃子」は、素材の味を生かし、具に13種類の調味料をバランス良く配合してあるの



1962年に福岡県大牟田市で両親が創業した餃子店の屋号を、娘さんの新元俊子さんが継承し、1998年神戸に「大鳳餃子」をオープン

よしい・せいいち コピーライター・作詞家。老舗百貨店の食の通販誌では約30年にわたって執筆に携わり、全国各地を取材。試食した食品の数は1万点を超える。



マカロンのようなかわいい
フォルムだが、調理法はいた
ってシンプル

で、基本的には何もつけずに味わってほしいとのこと。味の変化を楽しみたい方は、塩をつけさせていただくのも美味。

それでは、9種類の味を一つずつ紹介していきましょう。まずは、真っ黒な皮でひときわ存在感を放っている「いかすみ」から。モチモチの皮にいかすみ

が練り込まれているだけでなく、中に豚肉とともにいかの身が入っていて、肉の旨みの中にコリコリした歯応えを楽しめます。

小麦若葉を練り込んだ緑色が鮮やかな「たけのこ」は、シャキッとした食感の姫たけのこ入り。その色も相まってちょっと和の雰囲気がある一品です。

ここで、餃子としては珍しい「ポテト」へ。皮に練り込まれた紫芋の色で焼き芋感が漂い

ますが、具はじやがいもやかぼ
ちゃなどの野菜ばかり。ほっこりした食感と野菜の甘みが醸す

ヘルシーな味わいがクセになり
そう。

黄色の皮の「ゆず」は、口にあれこれと食べ進んでいるうちに、あつという間に食べ切ってしまいました。「大鳳餃子」さんがこれからどんな新しい創



それぞれの素材が際立つ焼き上がりに、思わず「おいしそう!」
上段=(左より)すじ、ゆず、ポテト(紫芋)/中段=たけのこ、
いかすみ、チーズ/下段=キムチ、しそ、梅

マカロン餃子セット

[チーズ(2個)・キムチ(2個)・ポテト(2個)・梅・しそ・いかすみ・
たけのこ・すじ・ゆず 9種類・計12個]
1,620円(税込・送料別) 賞味期限……到着日より冷蔵で約1カ月

お取り寄せ・お問い合わせは

大鳳餃子

〒658-0013 兵庫県神戸市東灘区深江北町1-13-3

TEL: 078-412-9837

店舗営業時間: 17:00 ~ 23:00 (月曜日定休)

ホームページ: <https://shop.taihogyoza.jp/>

作餃子で、私たちを美味しく驚かせてくれるのか今から楽しみです。



「ポテト」へ。皮に練り込まれた紫芋の色で焼き芋感が漂い

ますが、具はじやがいもやかぼ
ちゃなどの野菜ばかり。ほっこりした食感と野菜の甘みが醸す

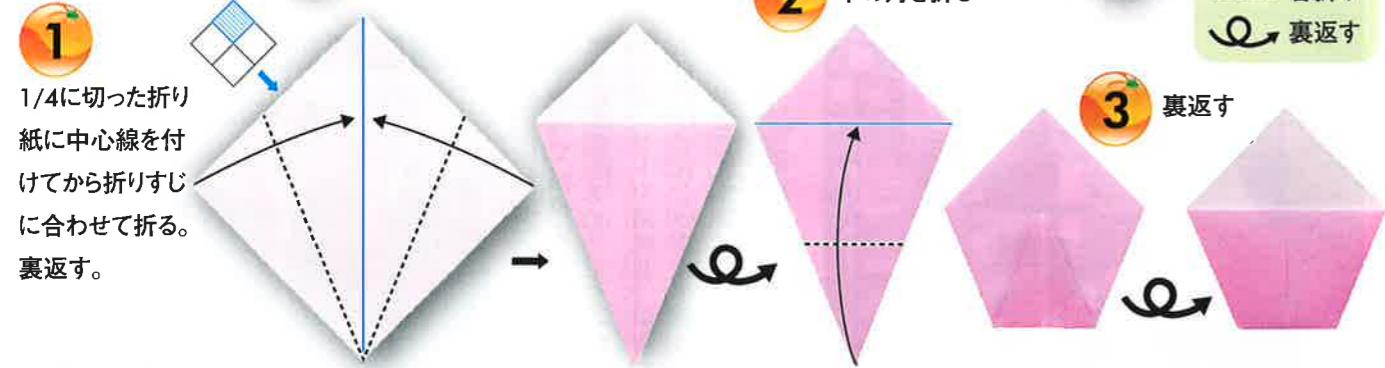
ヘルシーな味わいがクセになり
そう。

黄色の皮の「ゆず」は、口にあれこれと食べ進んでいるうちに、あつという間に食べ切ってしまいました。「大鳳餃子」さんがこれからどんな新しい創

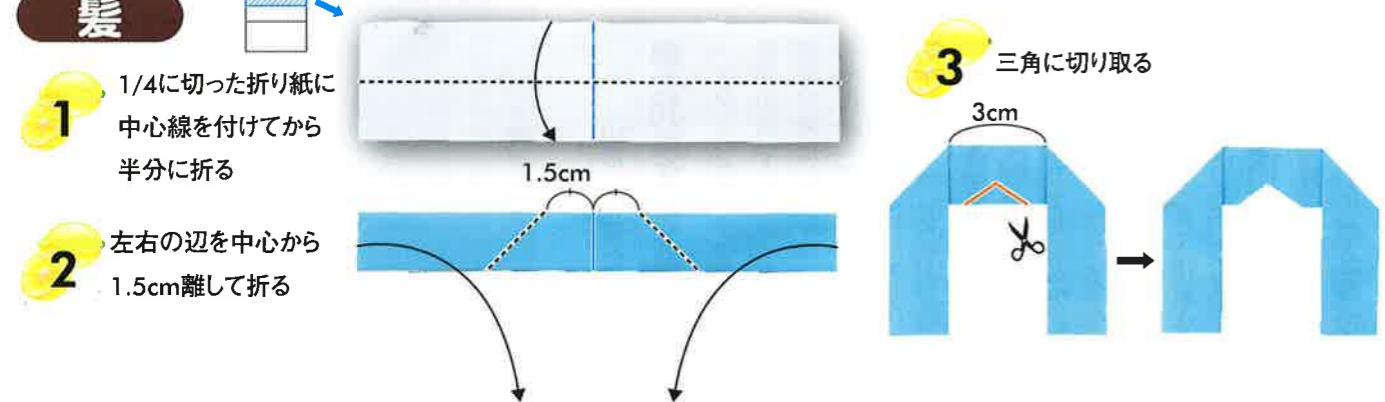
变异コロナにも負けない! アマビエちゃん



体

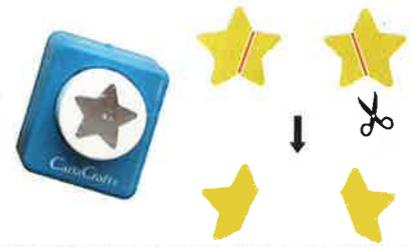


髪



耳

パンチで作った星形を切る



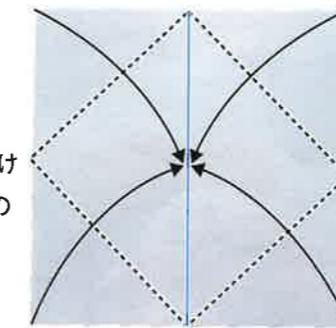
アマビエ



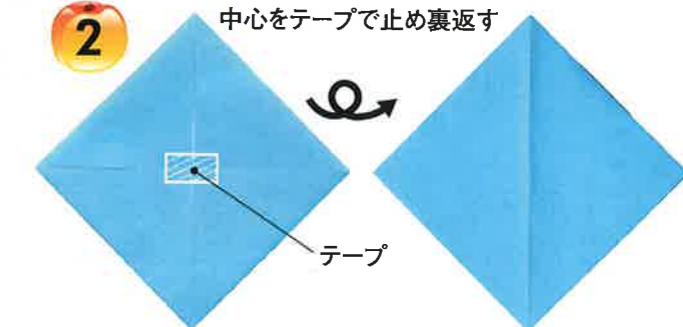
- 1 体の上部にのりを
つけ髪に差し込む
- 2 左右の髪を折り、体の
下を三角に切り取る
- 3 耳を貼って、顔をつくる。うろこは丸シールを
切って貼る

台紙

- 1 中心線を付け
てから四つの
角を折る

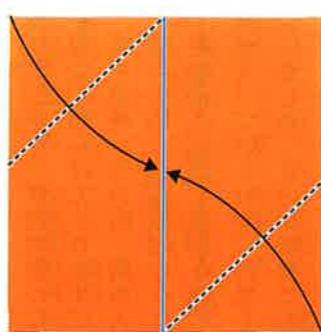


- 2 中心をテープで止め裏返す



台紙・アレンジ

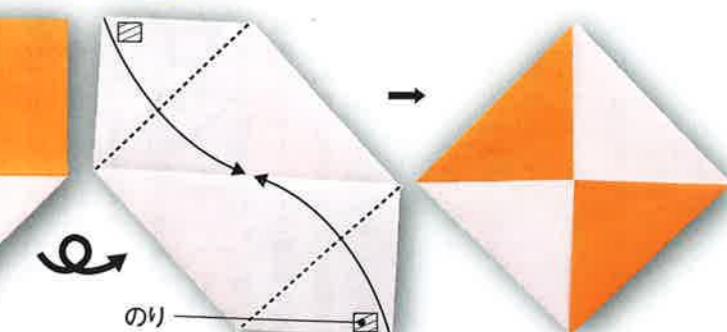
- 1 中心線を付けてから角を
折りすじに合わせて折る



- 2 中心をのり付け
して裏返す



- 3 角を折りすじに合わせて
折り、のり付けする



完成

台紙にアマビエを
貼り付けて完成



【まいみさ】手づくりおもちゃ作家。折り紙や牛乳パックなどをリサイクルして手づくりの楽しさを伝えています。著書に「12か月のおりがみ壁飾り」など34冊。2011年から、小学校2年の教科書「こくご」(三省堂版)にも登場。最新刊は「季節のおりがみ つり下げ飾り」(講談社)

おりがみ協力:株式会社トーヨー





によるインドネシア人介護福祉士候補者を計10人受け入れ、3人の合格者を輩出しています。これからも済生会の一員として、すべてのいのちに寄り添い続けます。

（介護職員 高見友郁）

年度介護老人保健施設事業功劳者厚生労働大臣表彰」を受賞しました。

山田施設長は1999年のはまな莊開設時からの施設長で、長年、介護老人保健施設事業の発展に寄与してきました。

これまでの思い出深い出来事として、全国済生会老人保健施設協議会の開催、熊本震災へのDCAT（災害派遣福祉チーム）



〈広島〉老健はまな莊 山田施設長が厚労大臣表彰

山田勝士施設長が、「令和2

派遣、西日本豪雨災害の甚大な被害とその対応を挙げます。コロナ禍のため、厚生労働大臣から直接の表彰はかなわず、地元坂町の財満芳洋副町長から伝達表彰となりました。それでも終始笑顔で「はまな莊が、地域に対してさらに貢献できる施設となるよう、職員一同精励していく」と抱負を述べました。

（済生記者 佐藤 脇）

男女共同参画推進企業認定

金沢病院は12月2日、石川県から、いしかわ男女共同参画推進宣言企業「女性活躍加速化クラス」に認定されました。同日、



（済生記者 山川友和）



撮影：〈新潟〉三条病院 1月11日、積雪が81センチにもなった当院前で。この写真的記事は54ページをご覧下さい

topics

看護職再就業支援研修

〈大阪〉野江看護専門学校



まず校内で医療安全・感染管理・看護基礎技術・ファジカルアセスメントを講義し、演習も1日かけて行ないます。その後、野江病院で急性期医療の研修を、特養城東園と野江訪問看護ステーションで慢性的な疾患の看護を行ないます。その後、再就業を考える潜在看護師のニーズに合った支援を本年度から始めていきます。

当校では再就業希望者に対し、

業希望者に対し、

実習調整者 山下真由美

（事務長 金子大記）

創立30周年記念冊子制作

〈山形〉特養ながまち荘

ながまち荘は昨年7月1日に創立30周年を迎え、このたび記念誌を発行しました。当荘は「済生の理念」の下で、東日本大震災の被災者受け入れやDWATやDCATといった災害派遣福祉チームの派遣、被災施設再開支援の職員派遣など、さまざまな災害支援を実施。2011年には当時の皇太子殿下（現・天皇陛下）の行啓をお迎えしました。18年2月には、全国6472事業所の中から「介護甲子園施設部門最優秀賞」を獲得。介護人材の育成でも、2010年からEPA

看護職再就業支援研修

研修と就職相談を、全6日間のプログラムで実施します。

本年度は9月・11月・1月に開催し、参加者は現場を離れて久しく眠らせていた看護の呼び覚ましたを熱心に取り組みました。

9月・11月の参加者3人のうち2人からは「再就業先が決まりました」と連絡をいただきました。

ー ションで慢性期・療養医療の研修と就職相談を、全6日間のプログラムで実施します。

大阪府の援助を得て、再就業を考へる潜在看護師のニーズに合った支援を本年度から始めていきます。

当校では再就業希望者に対し、業希望者に対し、実習調整者 山下真由美（事務長 金子大記）

創立30周年記念冊子制作

〈山形〉特養ながまち荘

ながまち荘は昨年7月1日に創立30周年を迎え、このたび記念誌を発行しました。当荘は「済生の理念」の下で、東日本大震災の被災者受け入れやDWATやDCATといった災害派遣福祉チームの派遣、被災施設再開支援の職員派遣など、さまざまな災害支援を実施。2011年には当時の皇太子殿下（現・天皇陛下）の行啓をお迎えしました。18年2月には、全国6472事業所の中から「介護甲子園施設部門最優秀賞」を獲得。介護人材の育成でも、2010年からEPA

福井県済生会病院 脇看護部長がパネリストに 厚労省の両立支援セミナー

福井県済生会病院の脇和枝看護部長が、1月14日に開催された「治療と仕事の両立支援オンラインセミナー」に登壇しました。

福井県済生会病院

オンライン地域セミナー（東海・北陸エリア）（厚労省主催）のパネリストを務めました。

このセミナーは本年度全国77の地域の企業によるパネルディスカッションをYouTube

で配信し、オンライン会議システムによる参加型グループワークを実施しました。

当日は全国から75人が参加。脇看護部長は、職場復帰支援プログラム作成の主なポイントと、長期療養中の職員に行なった両立支援の事例を紹介。当事者からは「自信をもって職場復帰できた」と評価されていると述べ、「職員同士の支援体制の必要性について改めて周知を図り、院内全体の理解を得ることができ、職場環境改善の一助となつた」と締めくくりました。

（済生記者 吉川千恵）



〈山形〉老健フローラ「やじらせい」 健康体操動画を YouTubeで配信開始！

家族介護教室で人気の健康体操動画を、12月末から当施設の公式YouTubeアカウントで配信始めました。利用者さんのご家族や地域の皆さんに支えられ毎年開催してきた家族介護者教室が、コロナ禍で今年度は中止。「開催を楽しみにしていた」家族や地域の皆さんとのつながりを大切にしたい」との思いから動画配信

青木ひろみ主任看護師です。例年は全国社会福祉大会で表彰されますが、コロナ禍で中止となり、伝達式が1月8日に山形市役所で行なわれました。佐藤孝弘山形市長は一人ひとりに表彰状を授与し「長年の地域福祉への取り組みに感謝し、これからも地域の発展に力を貸していただきたい」と述べました。大変喜ばしい表彰で、周りの職員の励みにもなります。今後も地域のために、コロナに負けず頑張っていきます。

（副主任介護職員 安達恭子）



筑陽学園の 生徒から 感謝と激励の品

（福岡）二日市病院

筑陽学園高等学校（太宰府市）で、奉仕活動を行なうインタークラブの皆さんから12月22日、タオル生地の手作りニット帽子と、応援感謝のメッセージを書いた横断幕とポスターをいただきました。

「ニット帽子は全て手作り。裁縫が初めての生徒もあり、うまく縫えていないものもあるかもしれません……」と同伴の先生はご謙遜。しかし、どれも一生懸命作ってくれた温かさにあふれ、職員から「かわいい」と声があがる出来栄えです。

（総務課 久富大史）

横断幕とポスターは院内に掲示しました。職員一同、目にすることなく感謝の気持ちを思い起こし、それを励みに日々の仕事に取り組んでいます。

（済生記者 鈴木宏次朗）



後列左から 当院の壁村哲平院長、筑陽学園高等学校教諭、むさし苑施設長。前列左から 当院職員 生徒さん4人、当院職員

3人に厚生労働大臣表彰

（山形支部）

令和2年度社会福祉功労者に県済生会の3人の職員が選ばれ、厚生労働大臣表彰を受けました。表彰されたのは、特養山静寿の井上真人管理課長、特養愛日荘の武田良子主任介護福祉士、同

患者さんと、関連施設の特養むさし苑に



topics



特養なでしこ香川

12月30日、職員に年越しうどんを振る舞いました。コロナ禍で恒例の忘年会を中止した代わ

うどん県の年越しはこれ!

りに、何かできないだろうかと考え、うどん県らしい催しを企画・実施したものです。

そうはいってもさすがに職員全員分のうどんを打つのは難しいため、地元のうどん屋さんからうどん玉・だし・かき揚げを仕入れ、揚げとおでんは行事運営委員会職員が手作りしました。

初の試みでしたが、「うどんもおでんもおいしかった」と好評でした。

感染症対策で、わいわいにぎやかに同じ時を過ごすことはできなかつたものの、コロナ禍で

**記録的大雪の中届いた
地域からの温かい支援**

〈富山〉高岡病院

いろいろな行事が中止となる中、一年の労をねぎらい、明くる年の英気を養うひとときとなりました。

(済生記者 住谷佳津)



んから1月9日、200個余りのパンの差し入れをいただきました。災害派遣要請を受けた自衛隊が出動し、不要不急の外出自粛

が求められるなど、富山県では前日8日から記録的な大雪が降る中で、高岡医療圏の救急当番だった当院には多くの職員が出勤。「大雪でも患者さんのために頑張る医療従事者を支援したい」と届けられた厚意の品です。大雪のため交通マヒが続いていた同11日にも、ドミノ・ピザを寄贈しています。

オリックス宮内財団が12月17日、日本重症心身障害福祉協会を通じて当院に福祉車両1台を寄贈してくれました。

同財団は2006年にオリックス社会貢献基金として設立され、社会福祉、音楽、文化芸術、子どもなど、幅広い分野で支援活動を展開。2019年度までに117台の福祉車両を寄贈しています。

当日は寄贈式を予定しています。

**〈三重〉明和病院なでしこ
オリックス宮内財団から
福祉車両を拝受**



いから、神戸にある木製品を扱うギャラリーに、当乳児院オリジナルの木製おもちゃづくりを依頼。50万円相当を寄付してくれたのです。

神田社長は、ギャラリーの店長と一緒に木製おもちゃを持参して来院し、子どもたちに手渡してくれました。まことにセツトや積み木、車をはじめ、すべり台など大きな遊具も。どれも木の香りと温かみを感じられ、子どもたちは大喜びで遊んでいます。

(済生記者 久原市子)

木製おもちゃのプレゼント

大阪乳児院

「アセラ賞」を受賞しました。これはリハビリ専門職を対象にした業界初のリーダーシップ研修です。全国から20人が選抜され、7月～12月に、未来の療法リーダーに成長するためのオンライン研修を受講しました。

筆者が「最優秀賞」を受賞しました。これはリハビリ専門職を対象にした業界初のリーダーシップ研修です。全国から20人が選抜され、7月～12月に、未来の療法リーダーに成長するためのオンライン研修を受講しました。

本研修で特筆すべきは、自己課題に重点を置いていること。私も半年間自己と向き合い、「すべての医療機関を受診する患者さんを、今より少しだけリハビリで幸せにする」ことをマイプロジェクトに掲げ、その達成に向かた行動目標「当院リハビリ科を日本一、人が育つ組織にする」の下で活動してきました。

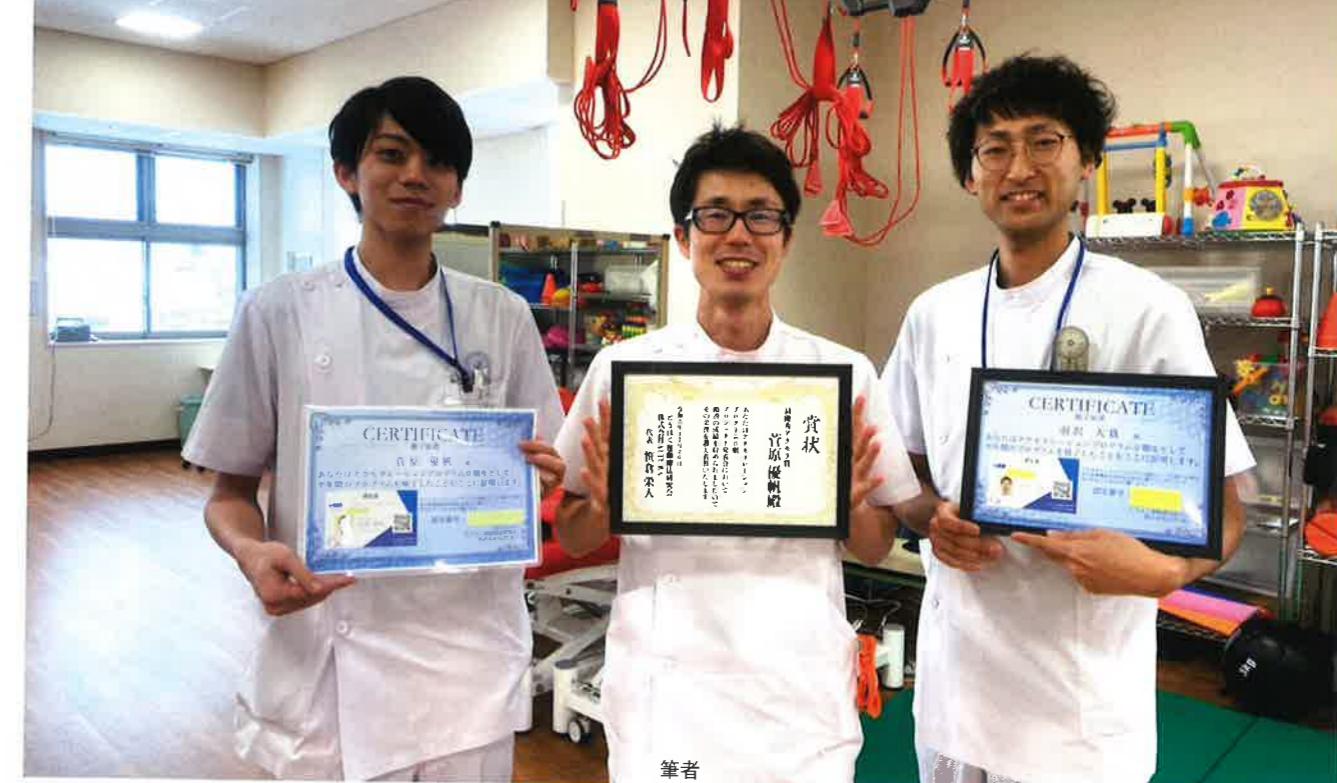
今回出会った全国の仲間とのつながりを大切に、これからも精進していきます。

(リハビリテーション科)

(菅原優帆)

菅原療法士が最優秀アセラ賞を受賞

〈岩手〉北上済生会病院



筆者

12月20日に「療法士リーダーシップ研修アセラグラム0期修了発表会」(とうほく運動療法研究会主催)が開催され、筆者が「最優秀賞」を受賞しました。

12月16日に、木のおもちゃと道具を寄付していただきました。

同社の神田祥平社長は、大好きな木の温もりを子どもたちに伝えたい、感じてほしいとの思



うギヤラリーに、当乳児院オリジナルの木製おもちゃづくりを依頼。50万円相当を寄付してくれたのです。

神田社長は、ギャラリーの店長と一緒に木製おもちゃを持参して来院し、子どもたちに手渡してくれました。まことにセツトや積み木、車をはじめ、すべり台など大きな遊具も。どれも木の香りと温かみを感じられ、子どもたちは大喜びで遊んでいます。

（済生記者 塚本崇基）

topics

23人の職員が出動！ 半日がかりで雪かき

新潟 三条病院

病院構内の除雪作業を祝日の1月11日に行ないました。

強い冬型の気圧配置で、新潟は7日～10日にかけて数年に一度の大雪が降り、当院周辺は最大81センチの積雪を記録。消雪パイプで散水しても排雪が追いつかず、病院構内が雪で埋もれてしまう事態に。

そこで各部署から選抜した精銳23人で、除雪車場を中心にして車場を入れない駐

雪作業を実施。膝上まで積もった新雪や、圧雪



されて固まつた根雪と格闘しながら、半日かけて駐車スペースを確保しました。今年は1月3日にも除雪作業を行なつておらず、除雪隊は早くも二度目の出動。彼らの活躍

佐藤雅彦病院長とTQMセンターの発案で今年度から始めたもので「褒め認め合う文化の醸成と、成果共有による刺激で組織を活性する」ことが目的です。上期の実施予定がコロナ禍で延び、ようやく開催できました。

初開催の成果報告会 〈埼玉〉川口総合病院

2019年度成果報告会を12月11日に東館講堂で催しました。



で、連休明けの診療に支障を来すことなく、患者さんに安心して来院していただけました。

(済生記者 治田貴大)

「3つの密」を回避するため、

80人程度が参加。橋本恭伸泌尿器科主任部長の「ダ・ビンチ導入2年目の工夫」をはじめ、多くの候補から選び抜いた10演題を発表。前年度の各部署の活動内容や成果を共有し、活発な意見交換が生まれました。自部署の取り組みに生かすことのできるヒントやアイデアを得る、気づきの機会にもなり、盛会のうちに終了しました。

(事務部副部長 清水吉則)



初のZoom忘年会大成功 〈北海道〉小樽病院

Zoomを活用した忘年会を初めて企画し、12月17日19時から開催しました。

職員は、病院が用意した弁当や菓子を自宅などに持ち帰り、から開催しました。



各自パソコンやスマホで参加。和田卓郎院長は、コロナ禍での職員の頑張りに対するお礼と労いの言葉を述べ、自宅から参加する職員の家族にも感謝のメッセージを伝えました。

病院講堂で忘年会表彰を、医局で新人医師紹介を行ない、お楽しみ抽選会を実況中継。最

後にお待ちかねの当院エンターテイナーによるオンラインステージ！

例年、ホテルの宴会場で見られる光景がオンラインで繰り広げられました。オンラインを不安視する声もありましたが、運営する福利厚生会メンバーの段取りでいつも通りの楽しい会に。予想を上回る170人超が参加し、会場を含め総勢250人規模の大忘年会となりました。

(済生記者 松尾覚志)



小樽病院

つむぎの会から タオル帽子40枚の寄付

抗がん剤治療などで髪が抜け落ちた人が使うタオル帽子40枚を、12月23日にボランティア団体「つむぎの会」から寄付していただきました。

2018年発足のつむぎの会は、柔らかく肌触りの良いタオル帽子を市内の医療機関に寄付しており、小樽病院への寄付は昨年に続き二度目です。一枚のフェイスタオルをミニタオル帽子は、北海道の寒い冬にもぴったり。女性だけでなく

男性も使えるよう、色合いは明るいものから落ち着いたものまで幅広く用意されています。

(済生記者 松尾覚志)



抗がん剤治療などで髪が抜け落ちた人が使うタオル帽子40枚を、12月23日にボランティア団体「つむぎの会」から寄付していただきました。

2018年発足のつむぎの会は、柔らかく肌触りの良いタオル帽子を市内の医療機関に寄付しており、小樽病院への寄付は昨年に続き二度目です。一枚のフェイスタオルをミニタオル帽子は、北海道の寒い冬にもぴったり。女性だけでなく

オンライン面会を開始

福岡総合病院

タブレット端末によるオンライン面会を1月6日から開始しました。

新型コロナの感染防止対策で、当院は面会を禁止しています。

その中で慣れない入院生活を送り、治療を行なう患者さん・ご



何度もお礼し、喜んでいた姿が印象に残ります。

現在は1日3枠の予約制ですが、状況に応じて増枠するなど、患者さん・ご家族に満足いただける対応に努めます。

(済生記者 小田温子)

介護専門職には、根拠に基づいたケアの提供が求められます。そこで本年度は、受講者を利

用者さん・介護職・司会者の役に分けてロールプレーティングを実施。それぞれの立場の視点で、事例について多角的に検討しました。

〈兵庫〉特養ふじの里

多角的検討で研修に深み

介護職員実務者研修を9月30日・11月18日の毎週水曜日に全8回開催し、10人の受講者は実

技やロールプレーティングを通じて学びを深めました。

（済生記者 小田温子）

家族の不安を、少しでも解消してもらおうと企画しました。

1人につき週1回15分程度で、多床室の患者さんはデイルームで利用しています。オンラインで面会したご家族は、「顔を見て安心しました」「画質がきれいで声もよく聞こえ、ぜひまた利用したい」と好評。帰り際に



〈山形〉養護（盲）老人ホーム山静寿

来年はいつもの忘年会

忘年会を12月21日の夕食に合わせて開催しました。

例年は、入居者さんが普段から練習している楽器や歌を披露し、お酒を酌み交わしながら親睦を深める楽しい場になるのですが、コロナ禍のため内容を大幅に縮小して開催しました。

防災99人で力を合わせて 防災カレーづくり

3歳以上児の3クラス計99人

「いつもよりもおいしかった」という入居者さんからは、やはり例年通りの忘年会を望む声も。「来年こそは」と、コロナの終息を改めて願う忘年会でした。

(済生記者 丹 秀樹)



〈栃木〉宇都宮病院 自治医大病院・笹原先生が 感染対策の環境整備で講演

全職種対象の講演会「環境整備の重要性」を12月9日に開催しました。講師には自治医科大学付属病院感染制御部・笹原鉄平副部長を迎え、300人以上

が参加。職員同士の距離を十分に保てるよう座席を配置、講演が聞ける別室も設けるなど、万全の感染対策で実施しました。 笹原副部長は、レジオネラ菌や薬剤耐性菌などによる感染症の収束に向けた対策や事例について説明。当院の紫外線照射ロボットの効果についても触れながら、「できることからやる」環境整備の重要性を訴えました。 終了後アンケートでは「菌に対する認識の甘さを反省しました」などの感想が。職員一人ひとりが、改めて環境整備の重要性を理解し、感染対策を心掛けしていくきっかけとなりました。

(済生記者 川原彩花)

が11月13日、防災訓練の一環でカレーをつくりました。当園では災害時に停電し備蓄品がなくなつた後は、カレーの炊き出しを計画しているためです。

まき割り・火起こし・野菜洗い・皮むき・野菜切り・米とぎなど役割を分担。女子は、私たちの心配をよそに「おうちでしたことあるもん！」と手際よく野菜を切ってくれました。男子はまき割り。夏のお泊り保育で経験済みの年長さんは、足で木を押さえて力強くノコギリを引く姿もさまになつていて、年中さん・年少さんにお手本を示していました。

出来上がった力は、給食の先生が準備したピク

〈栃木〉宇都宮病院 自治医大病院・笹原先生が 感染対策の環境整備で講演

全職種対象の講演会「環境整備の重要性」を12月9日に開催しました。講師には自治医科大学付属病院感染制御部・笹原鉄平副部長を迎え、300人以上



も災害時を想定し、食器を新聞紙で拭つてから限られた水で流して片付けました。

(主幹保育教諭 住岡直美)



topics

JAおちいまばり婦人会から生け花

月23日慰間に来られ、すてきな生け花をいただきました。

「コロナで気持ちも沈みがちですが、華やかなお花を見てもらい、少しでも明るい気持ちになつてもらえたと、初めてお持

J Aおちいまばり婦人会が12月23日慰間に来られ、すてきな生け花をいただきました。

「きれいやねえ、今年はコロナでいろいろ大変やつたけど、お正月が来ると元気にデイケアに来ないかんね」

福島川俣光風園

地域のみなさんと折り紙でつくった秋の風景の大作が、昨年10月末に完成しました。

坪内課長は「子どもたちと貴重な時間を過ごすことができ感謝しています」と話しています。

(済生記者 吉川千恵)



にも積極的です。

上司の牧野良孝放射線技術部部長は「家族との時間を優先しつつも、周囲の理解と協力を得て日々楽しみながら生き生きと活動する姿は、同僚や部下の模

にも積極的です。

上司の牧野良孝放射線技術部部長は「家族との時間を優先しつつも、周囲の理解と協力を得て日々楽しみながら生き生きと活動する姿は、同僚や部下の模

地域に根差した施設を目指す

当園は、2018年9月からサロン「フイレール」(フランス語で「紡ぐ」)を定期開催し、出前講座などで地域との交流を深めてきましたが、コロナの影響で休止を余儀なくされました。

そこで、地域のサロンと近隣幼稚園、当園入所者さんで一つの作品をつくりて交流しようとして企画し、各パートの作成を依頼。当園でそのパートを組

み合わせ、地域の秋の風景を模した作品に仕上げました。

「きれいやねえ、今年はコロナでいろいろ大変やつたけど、お正月が来ると元気にデイケアに来ないかんね」

「しました」とのことです。

その後、デイケア利用者さんとソーシャルディスタンスを保ちながら楽しいひと時を過ごしていただきました。

「きれいやねえ、今年はコロナでいろいろ大変やつたけど、お正月が来ると元気にデイケアに来ないかんね」

利用者さんがそう話す姿を見て、私たち職員も頑張っていかなければ、新年に向けて気持ちを新たにしました。

(済生記者 伊藤君香)

地元の婦人会から生け花

〈愛媛〉今治老健希望の園



コロナ禍での使命を議論43人で幹部職員研修会

令和2年度幹部職員研修会を12月18日に実施し、幹部職員43

て、私たち職員も頑張っていかなければ、新年に向けて気持ちを新たにしました。

部と医療技術部門が、成すべき目標を設置したいとの提案があまりました。広報担当として、どのように地域に発信し集患につなげるかを具体化していきます。

コロナ禍で医療機関の経営状況が悪化する中で、将来を見据えた前向きな研修が行なえました。私たちはその具現化を使命として、達成を目指します。

(総務課 西山汐里)



坪内課長が鯖江市から表彰

福井県済生会病院

人が議論を深めました。

テーマは「終息の気配がみられないコロナ禍に、急性期病院としていかに対処していくか」。各診療科が現状と課題、今後増やしたい疾病領域などのビジョ

放射線技術部の坪内啓正課長が、11月29日、「鯖江市ワーカーライフ・バランス賞」を受賞しました。

3児の父親である坪内課長は、0歳児と3歳児の育児で、9月4日～18日の2週間、育児休暇を取得。主体的に家事や育児に取り組んだ姿勢が評価されました。放射線技師として働きながら、大学院社会人コースの学生として自己研鑽も積み、趣味の山登りや医療ボランティア活動



タテ約170センチ×ヨコ約230センチの大きな作品は、川俣町の役場や公民館、協、地域のサロン会場、幼稚園で展示しました。

地域のみなさんは「集まらなくても素晴らしいものができるんだな」「みんなの気持ちが伝わる作品だね」といった感想をいただきました。

(済生記者 齋藤武史)

万全の新型コロナ感染症防止対策を講じて実施。34人が参加し、全7演題を発表しました。

参加できなかつた職員にも成果を見てもらうため、今回初めて、職員食堂に2演題ずつ2週間交代でポスター発表を掲示。意見や感想を聞く用紙と箱も設置しました。多職種の目に触れる場所なので、看護師以外からどんなコメントが寄せられたのか楽しみです。

例年通りにできない行事も少なくありませんが、この発表会のように、知恵を出し合い创意工夫し乗り越えていきます。



万全対策で看護研究発表会

看護部看護研究発表会を12月5日、院内で開催しました。

参加人数制限、検温実施、ソーシャルディスタンス確保など、

岡山済生会総合病院

動画で肝臓病料理教室

脂肪肝の患者さんを対象にした「肝臓病料理教室」を12月12日に開催しました。コロナ禍のため今回は調理せず、動画で今



年末年始のあいさつをオンラインで配信

福岡総合病院

(経営企画室 春口勇介)



年末には、松浦弘院長から職員・家族宛てに、一年間の労をねぎらうメッセージ文をグループエア上で配信しました。

年始は、事前に収録した松浦院長・大嶋由紀看護部長・中島克洋事務部長からの新年のあい

職員は「元気が出た」「すばらしい動画だった」「三役のメッセージが心に染みた」と、新たな気持ちで業務に励んでいます。

(済生記者 小田温子)



（動画は

漏れまし

た。

笑い声が

漏れまし

た。

関わらず、患者さんから大きな

クイズに挑戦。マスク越しにも

笑い声が

漏れまし

た。

泰之内科医長が出題する脳トレ

レクリエーションでは、下村

の季節にぴったりのレシピ5品

を紹介しました。

池田房雄肝臓病センター長が

「生活習慣病と肝臓病のかかわり」を解説。続いて、多職種が

協力し作成した料理動画を流し、

一口ずつ感染対策のマスクを付

けながら試食しました。

（秘書広報課広報主査 中村貴美子）

岡山済生会看護専門学校

遠隔授業で技術も教授

岡山済生会看護専門学校は、

新型コロナの感染者数が再拡大し始めた12月8日から遠隔授業を開始しました。昨春の緊急事態宣言発令時以来、二度目の措置です。

最初の遠隔授業では四苦八苦した講師陣も、経験を重ね教員間で情報を共有してきた中でスキンアップ。遠隔では難しいと

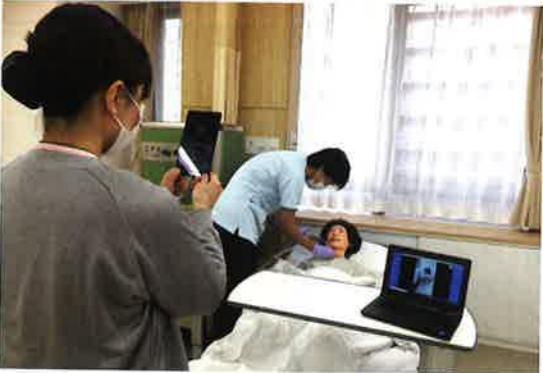
考えていたグループワークや看護技術の授業も、学生参加型で実施できています。

吸引技術を教える際には、教員がモデルの人形で吸引する手元のアップをタブレットで写してわかりやすく配信。注意点や観察項目などの要点を学生に尋ねて注意喚起しながら進め、意

味で情報交換する機会を設け

て、授業を充実させています。

（専任教員 向山侑司）



（福岡）飯塚嘉穂病院
「患者さんにきれいな花を」

福岡県立嘉穂総合高校農業食品科の先生と生徒14人が12月10日に来院し、緩和ケア病棟庭園を整備してくれました。

総合実習の一環のボランティア活動で来た生徒は、「授業で習ったことを生かして、患者さん

（福岡）飯塚嘉穂病院

「患者さんにきれいな花を」

（専任教員 向山侑司）

さつ動画を、職員向けにオンラインで限定公開しました。

松浦院長はスライドを用いて今後の方針について説明。最後に、職員のさまざまな活動などをフォトギャラリーにして流し、2020年を振り返りました。

院長は「元気が出た」「すばらしい動画だった」「三役のメッセージが心に染みた」と、新たな気持ちで業務に励んでいます。

職員は「元気が出た」「すばらしい動画だった」「三役のメッセージが心に染みた」と、新たな気持ちで業務に励んでいます。



開運フローラ神社で初詣

フローラさいせいの正月行事に欠かせないのが、職員が利用者さんにお正月を感じてもらおうと毎年試行錯誤し手作りする「開運フローラ神社」です。

神社は年々グレードアップ。外出の難しい利用者さんが、お参りしたりおみくじを引いたりしています。大吉を引いた利用者さんは「いいことあっかな」と喜んでいました。

1月2日には書き初めをしました。書き初めには「一年の抱負を心新たにするおめでたい言葉や、今年一年の目標・抱負を書くことで、行動を新たにする」という意味があるそうです。



皆さん筆を手に取り、半紙に向かって力強い文字を一生懸命書きました。決意も新たに、新年に向けて良いスタートが切れました。今



〈山形〉老健フローラさいせい

年は楽しい一年になりますように。

(済生記者 山田沙也加)

貼り絵でにぎやかな新年

毎年の年始にデイケアを飾る貼り絵が今年も完成し、利用者

貼り絵が今年も完成し、利用者



〈山形〉特養愛日荘

さんや来荘者さんの目を楽しませてくれています。

介護職員が下絵を書いた上に、

利用者さんが丁寧に色紙を貼り付けて制作。

パーツごとに分担

作業し組み合わせて仕上げるた

め、作業中は全体像が分かりま

に縁起物やふなせんべいを飾り、五穀豊穣・無病息災を願うもの。6グループに分かれ、手指を消毒しマスク・手袋着用で作業しました。

気の早いグループは「まず芽取りしてが」と、職員が説明する前にスタート。「団子いつぱい作つてから付けた方がいい

「白がもっとあるといいな」と話しながら、皆さん手際よく団子付けを行ないました。

みんなが集まるリビングに飾



願いを込めて団子木作り

山形の伝統行事・団子木作りを1月15日、入居者とショートステイ利用者が参加し、愛日荘の「地域交流スペースふれ愛」で実施しました。

団子木作りは、ミズキの木枝

んが、そこに金や銀など色とりどりの紙を貼り付け、ひもを通して完成。新年の抱負や願いごとを書きました。

「今年も健康に過ごせますように」「家内安全」「長生きできますように」のほか、「早くコロナが収まりますように」と、時代を映したものもありました。

出来上がった絵馬は自宅に持

ち帰つてもらい、皆さん「玄関に部屋に飾ります」と言つてい

り「いいぐでぎだなあ（良くでききたな）」「いい年なりますよう

に」と願いを込め団子木の完成を喜びました。

(看護職員 佐々木ちはる)

絵馬に新年の願いを入れる

デイサービス利用者さん75人が参加し、1月4日～9日の6日間に絵馬を作りました。

職員が段ボールなどで絵馬の土台となる板を作成。利用者さ



〈愛媛〉西条特養

(済生記者 片桐大輔)

ました。

コロナ禍で暗い話題の多い昨今、気持ちも新たに一年のスタートを切ることができました。

(済生記者 村尾友和)

**年女の職員が晴れ着を披露
笑顔あふれる新年会**

（静岡）特養小鹿苑

特養部の新年会を1月6日に行ないました。換気をしながらソーシャルディスタンスを意識し、2回に分けて各回40人ずつで開催しました。

年女の丑年生まれの職員が着物姿を披露すると、利用者さんから「きれい」「一緒に写真をとりたい」と歓声が湧き、たくさんの笑顔が見られました。

利用者さんに今年の抱負を聞きました。



くと、「健康で過ごすこと」が一番多く、その願いを込めながら鏡開き。盛り上がりとこの完成を目指します。眉毛にぼくろを置いてしまい、思わずクスクスと笑ってしまう出来の人も。感染予防をしっかりと行ない、笑顔あふれる新年会を開くことができ、良い1年のスタートが切れたと思います。

（済生記者 宮上香夢）

新潟）なでしこ青空保育園

「あー」と、あちこちから喜びの声が上がりります。コツをつかむと、夢中になって遊びました。

最初はできなくても、友だちから刺激を受けて「自分でやってみたい」と諦めずに挑戦する姿に、心の成長を感じました。

いつそう練習に励むみんな。次第に回せるようになり「できた声が上がります。コツをつかむと、夢中になつて遊びました。

（済生記者 梨本あゆみ）

小さなコマ名人誕生！

この冬、2歳児クラスの15人はビニール袋や段ボールで手作りした、たこや羽子板などの正月遊びを楽しみました。

中でも子どもたちに人気なのが、コマ回しです。保育士が手回しでコマを回すと、「やりたい！」と興味を示し、次々と挑戦し始めました。

ところが初めはうまく回せず、

保育士が回すコマを見て楽しんでいたのですが、何日かすると、自分で回せるようになった「コマ名人」が登場。すると「自分ができるようになりたい！」と、

ユニットの正月行事で、毎年恒例の獅子舞と書き初めを1月1日に行ないました。

獅子に扮した職員が入居者さんの無病息災を願い、頭を噛んで回ります。「うわあ！」と笑顔で回ります。

（済生記者 梨本あゆみ）

山形）特養愛日荘

ユニットの正月行事で、毎年恒例の獅子舞と書き初めを1月1日に行ないました。

獅子に扮した職員が入居者さん

の無病息災を願い、頭を噛んで回ります。「うわあ！」と笑顔で回ります。

（介護職員 朝田政彦）



顔で声を上げる人がたくさん。書いてもらいました。「しばらく楽しそうに筆を取る人、麻痺のため利き腕ではない手で器用に筆をつかう人、職員が手を

兵庫）特養ふじの里

おみくじなどで初詣を演出

認知症デイサービス「つどい」では、1月4日に賽銭箱とおみ



兵庫）なでしこ神戸

元日恒例の祝い膳

1月1日の昼食は、赤飯・おせちの盛り合わせ・雑煮風汁の特別メニューを提供しました。

なでしこ神戸では厨房職員に協力してもらい、毎年元日に彩り豊かな祝い膳を実施。今年も29人の入居者さんが、お重にたくさん詰まつた料理を、新年を祝いながら召し上がりました。

利用者さんは一人ずつ参拝しておみくじを引き、喜んでいただけました。ご家族も「なかなか初詣に連れていくことができないのでうれしい」と話していました。

年始にはほかにも、年末のデイサービス中に作成した年賀状を、家族や担当ケアマネジャー、施設長に配りました。



山形）はやぶさ保育園

お正月遊びで初笑い

新年がスタートし、2歳児クラスの園児たちは、コマ遊びや

御年酒も用意し、職員が新年のあいさつをしながらお酌をして回りました。普段は口にする機会が少ないため、皆さん大変喜んでいました。

（管理栄養士 福富 愛）



山形）はやぶさ保育園

お正月遊びで初笑い

新年がスタートし、2歳児クラスの園児たちは、コマ遊びや

御年酒も用意し、職員が新年

のあいさつをしながらお酌をして回りました。普段は口にする機会が少ないため、皆さん大変喜んでいました。

（管理栄養士 福富 愛）

福笑い、年賀状ごっこなどお正月遊びに夢中です。

コマ遊びは、牛乳パックや紙皿にシールを貼って、オリジナ

ルのコマを作るところから始めます。シールの色をそろえたり、

模様をつくったりしてできたコ

マを回して、誰が一番長く回せ

るかを競いました。

福笑いは、おかめや干支の牛、人気キャラクターの顔に挑戦。

最初は「眉毛はどこ？」と確認

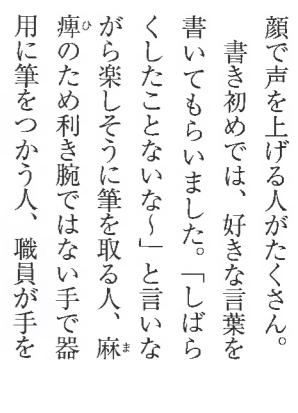
して置いていましたが、次第に

目の高さや向きを自由に変えて

遊び始め、みんなで初笑い。

雪が多い今年、園庭には雪がたくさん積もり、園児たちは寒さに負けず元気に雪遊びもして、冬を楽しんでいます。

（済生記者 峯田美咲）



2021年
2月28日(日) 13:00~17:30

済生会フェア 参加費無料 オンラインイベント

終活フェス2020

神栖ココでずっと暮らすために

YouTubeでライブ配信します



QRコード読み取り、
もしくはインターネットで検索！

<https://shukatsufes.xyz/>

検索 終活フェス2020

人生の最終段階における医療・ケアについて考える

①大会開催にあたって ~「人生の最期」をテーマに演劇を交えた趣旨説明~

誰もが迎える「もしも」の時。「もしも」の大切さや「医療現場での課題」を紹介します。清真学園中・高校生による演劇に、医師の解説を交え、事前に家族内で話し合われる機会の少ない「もしも」について皆で考えてみませんか。



吉本栄祐氏も参加

②長照寺住職 吉本栄祐 氏 講演 「人生の最終段階における心構え」

笑いながら生きるにはどうすればいいか。辛いこと嫌なことは口に出せばいい。ただ、そのまま出せば愚痴となり、笑いに変えればネタとなる。人生をネタに変えればどれほど楽しいか、落語を交えて楽しく解説いたします。

③神栖法律事務所 安重洋介 氏 講演 「人生の最終段階における法律の話」

日本は高齢社会を迎えており、相続や遺言の相談も増えています。「父が認知症気味ですが、遺言は書いてもらえますか?」「子どもたちに相続でもめて欲しくないのですが、どのような準備がありますか?」誰しも自分の最後は不安でいっぱいですが、最後をきちんとした形で終えるために法律の話を聴いてみませんか?

④もしばなゲーム

誰もが大切だとわかっている「もしも」のこと。医師開発の「もしバナ」カードを使えば、避けてしまがちな話題を扱うことができます。住職兼落語稽古連長の吉本栄祐(南夢明)氏、安重洋介氏に加え、医師、社会福祉士の4名も交え意見交換をします。



⑤さあ、人生会議をしよう ~もしもの時に限る大切な話し合い~

「もしも」の時の話は「いつ、誰と、どんなことを話せばいいの…」清真学園演劇部による劇を交え、細井崇弘(筑波大学付属病院神栖地域医療教育センター・神栖済生会病院 内科医長)氏が分かりやすく説明します。

当イベントは新型コロナウイルスの感染拡大を受け、完全オンライン開催に変更となりました。ご注意下さい。

●主催：社会福祉法人 恩賜財團 済生会 神栖済生会病院

●後援：神栖市 鹿島医師会 潮来保健所 筑波大学総合診療科



topics

小児病棟のクリスマス

小児科病棟では昨年のクリスマスシーズンに、クリスマスマイベントを行いました。

スタッフルーム入り口にクリスマスツリーを設置。「子どもたちのために!」と準備を始めたスタッフは、作業を楽しみんながオーナメントを飾り付け。

12月25日にはサンタに扮した医師がサプライズで病室を訪問。一人ひとりにサプライズでプレゼントを渡すと、子どもたちはとてもうれしそうでした。例年のようなイベントはできませんでしたが、入院中の子どももやご家族に、ささやかながらクリスマス気分を味わつてもらいました。



クリスマスに希望の光を

薄氷を踏む思いで過ごした2020年の締めくくりに、園舎を希望の光のクリスマスイ

えました。
(看護師長 末田博子)

神奈川わかくさ保育園

2020年の締めくくりに、園舎を希望の光のクリスマスイ

語りや、キリスト降誕の置物、クリスマス衣装の試着など園児には心躍る贈り物も。輝く星がひときわ心にしみる聖夜でした。

(済生記者 本倉美穂)

宇都宮中央女子高から 歌声とカードの贈り物

(栃木)宇都宮病院

県立宇都宮中央女子高校合唱部から、歌声を収めたCDとクリスマスカードが届きました。恒例のクリスマスコンサートがコロナ禍で中止となつた代わりに、「歌を届けたい」との思いを込めて送つてくれたものです。このすてきなプレゼントは毎年コンサート会場となる緩和ケア病棟へ。感染対策で集合は避け、賛美歌や懐メロ、クリスマスソングを病棟全体に聞こえる音量で流し、サンタやトナカイ



コロナ禍でも楽しみを

(三重)明和苑ディイサービス
創業を記念してデイサービス

に扮した医師・看護師が病室の患者さんにカードを配りました。多くのイベントが中止となつている中で届いたうれしい贈り物に、患者さんだけでなく職員も元気と勇気をもらいました。

(済生記者 川原彩花)

が続く今こそ、一人でも多くの人にささやかな喜びを届けたいと考えたのです。すると、お迎えの際に家族そろって鑑賞したり、卒園児が久しぶりに元気な顔を見させてくれたりと、当園は明るい雰囲気に包まれました。

町内の役員・長坂さんご夫婦による「クリスマス物語」の語りや、クリスマス衣装の試着など園児には心躍る贈り物も。輝く星がひときわ心にしみる聖夜でした。

ひときわ心にしみる聖夜でした。
(済生記者 本倉美穂)

topics



サンタさんがやつてきた

福井県済生会病院

今年も12月25日のクリスマスの日にはサンタさんが来ました。クリスマスソングに合わせてサンタさんがやつてきた。

院内保育園たんぽぽは12月24日、クリスマス会を開催しました。

病院職員が扮したサンタが、真っ白い大きな袋を背負って突然登場すると、みんなびっくり。袋の中からお菓子とおもちゃのプレゼントを一人ひとりに手渡すと、園児は目をキラキラさせ手を伸ばしました。

園児はお返しに、「サンタが街にやつてくる」の曲に合わせて歌を歌いました。楽しそう



院内保育所のクリスマス会を大盛況。最後はサンタと一緒に記念撮影しました。

(済生記者 田端雄輔)

笑顔のクリスマス会

院内保育所のクリスマス会を開催しました。

子どもたちはみんなでサンタの帽子をかぶり、音楽に合わせて音が鳴るおもちゃを振りながら、歌を歌いました。楽しそう

有紀管理栄養士がフルートで「天城越え」、原田由美看護師がウクレレで「すてきなホリデイ」を披露。続いてピアノ・トロンボーン・アルトサックスを加え、「粉雪」など3曲を演奏。感動の涙を流す患者さんもいました。コロナ禍でも工夫をしながら、患者さんの癒やしに取り組む大切さを改めて感じました。

(経営企画室 春口勇介)

院内保育所ばつかばか園に、今年も12月25日のクリスマスの日にはサンタさんが来ました。クリスマスソングに合わせてサンタさんがやつてきた!

最初は恥ずかしそうに「サンタさんは何歳ですか?」「サンタさんは何色が好きですか?」「ぼくは赤が好き!」と質問していた園児も、一緒に歌や踊りをするうちに、すっかり仲良しになりました。

サンタさんは最後に、一人ひとりにお楽しみのプレゼントを手渡し、来年また会おうと笑顔で約束しました。

(済生記者 吉川千恵)

院内保育園たんぽぽは12月24日、クリスマス会を開催しました。

病院職員が扮したサンタが、真っ白い大きな袋を背負って突然登場すると、みんなびっくり。袋の中からお菓子とおもちゃのプレゼントを一人ひとりに手渡すと、園児は目をキラキラさせ手を伸ばしました。

園児はお返しに、「サンタが街にやつてくる」の曲に合わせて歌を歌いました。楽しそう



京芝ロータリークラブから12月17日に村上吉光会長など5人が来院し、居室ごとに設置できる

新乳児院棟の竣工に際し、東京芝ロータリークラブから12月17日に村上吉光会長など5人が見つける「間違い探しゲーム」を行ないました。

利用者さんに「久しぶりに楽しい時間が過ごせた」と、自肅ムがハンドベルを演奏し、サンタに扮した職員2人の衣装の違いを見つける「間違い探しゲーム」を行ないました。

利用者さんに「久しぶりに楽しい時間が過ごせた」と、自肅ム」を行ないました。



が催す恒例の感謝祭を12月14日17まで開催し、各日約30人の利用者さんが参加しました。コロナ禍で開催是非を検討しましたが、利用者さんの要望を踏まえ、「歌わない・踊らない」のルールと感染対策を徹底し開催することにしました。

いつもは会場で行なう歌謡ショーは、筆者が熱唱した「見上げてごらん夜の星を」の収録映像を上映。会場では職員2チ

が続く中で喜んでもらえた、開催してよかったです。今後も利用者さんと職員の一つのチームで感染対策に取り組み、楽しいデイサービスに努めます。

(業務課長 山本公子)

東京芝ロータリークラブがクリスマスプレゼント

病棟の患者さんは間隔を空けて観覧してもらい、緩和ケア病棟でそれぞれ開催しました。

毎年恒例のクリスマス演奏会を、12月24日に回復期リハビリ病棟で、翌25日に緩和ケア病棟で感染対策で、回復期リハビリ病棟の担当者がおもちゃやお絵かき帳などを購入。クリスマスに先駆けて、子どもたちの代表5人にプレゼントが渡され、大好きな新幹線のおもちゃをもらった子は大喜びしていました。

これらの機器は安全面を考慮して、各居室の収納家具内の壁面に設置。「きれいな画面で好きな番組が見られる!」と、子どもたちは大変喜んでいます。同クラブからは毎年クリスマスプレゼントもいただいています。今年はコロナ禍のため、保育士と同クラブの担当者がおもちゃやお絵かき帳などを購入。クリスマスに先駆けて、子どもたちの代表5人にプレゼントが渡され、大好きな新幹線のおもちゃをもらった子は大喜びしていました。

(福岡) 飯塚嘉穂病院

毎年恒例のクリスマス演奏会を、12月24日に回復期リハビリ病棟で、翌25日に緩和ケア病棟で感染対策で、回復期リハビリ病棟の患者さんは間隔を空けて観覧してもらい、緩和ケア病棟でそれぞれ開催しました。

SAISEI | 2021 FEBRUARY 68

topics



にリズムにのる姿がとてもほほ笑ましく、職員は癒やされました。

保育士がふん装したサンタが登場すると、子どもたちは本物が現われたと思つてびっくり。うれしそうにはしゃぐ子や、驚いて泣き出す子がいました。

その泣き顔もかわいくて、笑みがこみ上げてきます。最後は子どもたちも職員も、みんな笑顔の楽しいクリスマス会でした。

(済生記者 木本薫子)



クリスマス御膳でもてなす

毎年クリスマスの時期には、利用病院で働く私は、取材中話をする様子を拝見し、ホッと一息つくことができました。

(済生記者 小川克己)

講美歌隊の慰問もソーシャルディスタンスで

(神奈川) 若草病院



スだといいね」という利用者さんもいました。

日々、感染対策でピリピリしている病院で働く私は、取材中に利用者さんと職員が笑顔で会話をする様子を見た。ホッと一息つくことができました。

(済生記者 長澤伸哉)

考慮し、病院正面玄関の外からお願いすることに。寒風が吹く中でしたが、皆さん心を込めて講美歌を歌ってくれました。

病棟から移動できる患者さんはロビーに集合し、素晴らしい歌声のプレゼントに感激していました。来年の慰問も楽しみにしています。

利用者さんと楽しくお昼ごはんをいただきますが、今年は三密を避けるため「クリスマス御膳」に変更して実施しました。

コロナ禍でも、利用者さんにおいしいご飯を食べてもらい、笑顔でクリスマスを迎えていた

だこうと、職員は例年と変わらぬ思いでおもてなししました。

クリスマス気分を盛り上げる御膳を、皆さん笑顔でおいしそうに召し上がり、「毎日クリスマス

クリスマスの慰問は恒例ですが、今年はコロナ禍で来院が危ぶまれていきましたが、感染対策をしっかり講じ、すてきな歌声を患者さんとスタッフに届けてくれました。

例年は病院内で歌つていただきのですが、今年は感染防止のために、換気面を



非日々

DXが広げる医療の可能性

京都府病院 藤信統副院長



医疗と画像の総合情報誌「INNER VISION」第36巻第1号（インナー ビジョン社発行）に、藤信明統副院長が寄稿した。

病院経営上の課題を DX（デジタル

済生会の職員が寄稿した記事が掲載された雑誌等を紹介します

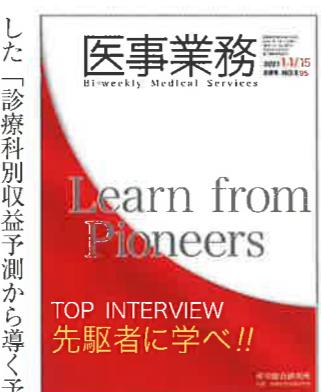
として、病院とクリニックのデータ共有がスマートにできるようになれば、地域医療の質が向上するのでは

ないかと締めくくっています。

(済生記者 白須優也)

患者を、職員を、病院を

京都府病院 岡本看護課長



京都府長岡京市の広報誌「長岡京ライフ」2021年1月号に、感染管理者の岡本教子看護課長が寄稿した。「医療現場の声」として、来院者・職員の新型コロナ感染防止対策について紹介している。

岡本さんは「自分が感染しない、人にも感染させない」という職員の感染対策への意識が確実に高まっていると述べ、感染を広げないために必要なこととして「手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス、不要不急の外出を避けることが、本当に大切です」と締めくくっている。

(済生記者 白須優也)

診療科別収益予測から導く予算策定のプロセス

横浜市南部病院 小島総務課長

「医事業務」No.595（産労総合研究所）に、小島勇人総務課長が執筆

性暴力センター「とちエール」の現状

宇都宮病院 地域連携課 稲見課長代理

「月刊保険診療」2021年1月号（医学通信社）に、地域連携課の稲見一美課長代理（M.S.W.）が寄稿した。

本書は医療制度・保険請求・医業経営の将来予測と実践ノウハウを追求した、実務に役立つ医療情報誌である。今回、連載「かがやく！事務部門」で地域連携課が取り上げられ、主に性暴力被害者（児）への支援活動を紹介している。

本記事は、予算策定における「入院収益予算の構築」に主眼を置いている。小島課長は「病院全体の収益予算に根拠がない」「診療科ごとの目標値を足し込んで病院が目標としている予算に届かない」といった現場の悩みに応える手法や考え方を紹介している。

病院経営に必要なこととして、ITによる業務効率化や、システムに患者を巻き込んで活用していくメリットが大きいと指摘し、高齢者が使いやすいことが医療機関におけるIT化のポイントと述べている。



当年度の収益構成の特徴を把握しつつ、各科の人員体制や疾患構成見込みなど、いかに次年度の診療体制

被害者支援センター「とちエール」の概要や、相談ケースについて説明。

15年4月～19年3月までの相談ケースのうち89%が面識のある人からの被害で、性暴力は立場や上下関係を利用した犯行が問題であることを指摘。被害者の42%が10代で、児童虐待の側面も併せ持つため、学校や警察、児童相談所等多方面との連携が必要で、総合的な支援が今後の課題であると述べている。

(地域連携課 秋山綾香)

分析指標の可視化・共有化で経営改善のアプローチ

宇都宮病院 上野課長

「病院羅針盤」2021年1月1日。15日合併号（産労総合研究所）のリレー連載「組織活性化と経営改善の効果」に、「分析指標の可視化、共用化による経営改善に向けた診療部へのアプローチについて」と題し、経営支援課の上野宏文課長が寄稿した。

大雑報

宇都宮病院 上野課長

身の回りで起きた、さまざまなお話をでも、家庭のお話でも、休日のお話でも、ご報告ください。

新病院の模型、私が作りました

2022年竣工予定の新病院の模型を製作しました。スチレンボードを使用し、縮尺は約300分の1でA3用紙2枚分ほどの大きさです。建物の形状や部屋の位置を確認しました。

ほかにも多くの職員から「見た

い！」と要望があり、つくつてよかったです。この模型を使って、来年に迫った新病院の各種業務などを精密に組み立てていきます。

(京都府病院 済生記者 白須優也)

ええ、本人そつくり。普段は、「言靈アート」の華也さんとして、元気が出る癒やしの筆文字メッセージと絵を描き活躍していて、次のメッセージが添えられていました。

「足の骨折で地域包括病棟にリハビリでお世話になりました。明るい！元気！ユニーク！と個性豊かな粒ぞろいのナース＆ケアスタッフさんのおかげでとっても楽しい入院生活を過ごせました。ほんとうによかった



元気が出る似顔絵プレゼント

地域包括ケア病棟の退院患者さんから「元気に退院できたお礼に」と、病棟スタッフの似顔絵カード17枚をプレゼントしていただきました。



宇都宮病院は、2025年に向けた将来構想で、建物増改築や新規センターの開設、ハイブリッド手術・ロボット手術の導入等、高度急性期病院としての経営戦略を積極的に実施。一方、収益増を上回る大幅な費用増が要因となり10年ぶりに医業収支が赤字となつた。それに伴い、全職員がさまざまな経営改善活動を実施、单年度で黒字回復を果たした。

記事では、診療部各科の診療科長に対して、医師の協力を得るために具体的な指示項目作成の過程や、各診療科への具体的なアプローチ方針が紹介された。臨床研修の必修化以降、医師不足に悩む済生会江津総合病院と後継者不足に悩む同市医師会などが2019年に設立したもので、メディアからは「医師を地方に呼び戻す有効な具体策の一つ」と大きく成果に結びついた」と締めくくっている。

(済生記者 川原彩花)

島根・江津 病院と医師会

医師不足対策で法人を設立

ノバルティスファーマ社のPR誌

[@Region (アソトリージヨン)]



で島根県江津市の地域医療連携推進法人が紹介された。臨床研修の必修化以降、医師不足に悩む済生会江津総合病院と後継者不足に悩む同市医師会などが2019年に設立したもので、メディアからは「医師を地方に呼び戻す有効な具体策の一つ」として注目された。

都市部の勤務医である開業医の子

(広報室 河内淳史)



の期待で胸が熱くなりました。早速、吉田憲正院長や職員に見てもらつて、「思ったよりできがよくてびっくりした」「立体で見るとイメージが湧きやすい」と好評。「うちの部署から一番近い出口はどこだ?」とのぞき込んだり、「業者の車の導線はこっちから行けるかな?」と指さしたりしていました。



次号予告

済生 No.1101 [令和3年3月号]

済生の不易流行論 (150) 炭谷 茂

NEWS な済生人 (茨城) 神栖済生会病院 中村慶春

この人 荒川良々

済生会交差点

口福にっぽん (42) ふかひれ姿煮麺(宮城県気仙沼市)

でづくりおもちゃ いまいみさ

広告索引

三井住友銀行 —— 表紙見返し [表紙2]

損害保険ジャパン(株) —— 17ページ

キリンビバレッジ(株) —— 裏表紙見返し [表紙3]

アクサ生命保険(株)

- 富国生命保険(相)
- 日本生命保険(相)
- 第一生命保険(株)
- 大樹生命保険(株)
- 明治安田生命保険(相)

—— 裏表紙 [表紙4]

です。感謝です。皆さんも大丈夫！ですよ。きっと元気になりますよ！

顔晴つてくださいね！」

スタッフ一同、心温まるメッセージに元気づけられています。

(愛媛・松山病院 済生記者 木本薫子)

息が郷里のクリニックに戻る際、同病院にも所属して週何日か勤務。クリニックの患者にも病院のCTやMRI等を利用してできる。医療従事者を人口減少地域全体の「資源」としてとらえた仕組みで、同病院の中澤

知り、その護符を拝みに行きました。場所は、京都府病院から歩いて10分ほどの長岡市埋蔵文化財センター。アマビエより歴史が古く地域への広がりも各段に上だつたとされる「蘇民将来」。スサノオノミコトに旅の宿を提供し精いっぱいもてなしたことからスサノオノミコトは蘇民の子孫を末永く疫病から守つたとされ、「蘇民将来之子孫者」と書いた札が厄除けのお守りになつたそうでお守り)にもこの札がついていたこ

よろこびがつなぐ世界へ

KIRIN



免疫機能で日本初!*

〈機能性表示食品〉



[届出表示] 本品には、プラズマ乳酸菌(*L. lactis* strain Plasma)が含まれます。プラズマ乳酸菌はpDC(プラズマサイトド樹状細胞)に働きかけ、健康な人の免疫機能の維持に役立つことが報告されています。

● 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。● 本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。● 本品は、疾病的診断、治療、予防を目的としたものではありません。

とに気付きました。
神様・仏様に「コロナ退散」をお願いしてきましたが、こんな近くに



巨大雪だるま作りました
(福岡)飯塚市で久しぶりに大雪が降った1月8日、早朝から職員が道路や玄関前などの雪かきに追われました。

それでも足元の悪い中、来院する患者さんに少しでも喜んでもらおうと、雪だるまを作りました。職員3人がかりで頭を持ち上げ、身長は180センチ以上!、院長の背丈より大きくなりました。

雪が降ると玄関前に現れる雪だるま。当院の冬の風物詩となっています。

(福岡・飯塚嘉穂病院 済生記者 松岡亜希)



明治44年2月
桂太郎を召さ
は、時の総理大臣桂太郎を召され、
この御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財團済生会を創立した。
以来今日まで109年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。戦後昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人済生会となっている。

総裁 秋篠宮皇嗣殿下
理事長 炭谷茂

明治44年2月
桂太郎を召さ
は、時の総理大臣桂太郎を召され、
この御下賜金を基金として全国の官民から寄付金を募って同年5月30日財團済生会を創立した。
以来今日まで109年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」という創立の精神を引き継いで保健・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。戦後昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人済生会となっている。

本部：東京 支部：40都道府県
病院 82 診療所 18 介護老人保健施設 1
介護施設 18 児童福祉施設 1
障害者福祉施設 25 救護施設 1
老人福祉施設 121 介護老人保健施設 29

済生 [令和3年2月号] THE NEWSLETTER of Social Welfare Organization Saiseikai Imperial Gift Foundation, Inc.

令和3年2月10日発行 通巻第1100号(第97巻第2号)

編集兼発行人 炭谷 茂
発行所 社会福祉法人済生会
〒108-0073
東京都港区三田1-4-28
三田国際ビルディング21階
TEL: 03-3454-3311(代)
FAX: 03-3454-5576

印刷所 株式会社白橋
東京都中央区八丁堀4-4-1
©社会福祉法人済生会

合計 395 (数字は令和元年度)
地域包括支援センター 29 60
看護師養成施設 7
訪問看護ステーション 5
地域生活定着支援センター 5
その他 9
戸内海の62島の診療活動に携わっている。
さらに巡回診療船「済生丸」が瀬戸内海の62島の診療活動に携わっている。
職員数は全国で約6万3000人。

済生会グループ保険のご案内

スケールメリットを活かした、
個人保険に比べて
割安な保険料で
大きな死亡保障を!!

グループ保険

[災害割増特約・こども特約・
こども災害割増特約付福祉団体定期保険]

(本人・配偶者・こども対象)

診査がなく(告知のみ)
手続きが簡単なうえ、
剩余金があれば
契約者配当金が戻ります。



①終身医療保障プラン

[手術給付特約・手術補完給付特約・
先進医療給付特約(12)・死亡保険金不担
保特約(入院保障保険(終身型09)用)付
入院保障保険(終身型09)(60日型)]

②医療保障プラン

[高度先進医療給付特約・特定疾患給付
特約付医療給付金付個人定期保険]

③総合医療あんしんプラン

[総合医療保険(団体型)]

(本人・配偶者・こども対象)

3つの保険より、
選択できます。



第二の人生を
充実させるために
今からご準備を!!

ゆうゆうライフプラン

[拠出型企業年金保険、
医療給付金付個人定期保険]

(本人のみ対象)



**令和3年度 済生会グループ保険は、
令和3年1月1日保障開始となります。
(保険料は令和2年12月の給与からの控除開始です。)**



*このご案内は商品の概要を説明しています。ご契約の際には、「パンフレット」「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

(グループ保険・ゆうゆうライフプラン引受保険会社)

アクサ生命保険株式会社 [事務幹事会社]

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 富国生命保険相互会社
第一生命保険株式会社 大樹生命保険株式会社
明治安田生命保険相互会社

(医療保険引受保険会社)

アクサ生命保険株式会社 (終身医療保障プラン・医療保障プラン)

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 電話 03(6737)7777(代表)

日本生命保険相互会社 (総合医療あんしんプラン)

法人サービスセンター

電話 0120-563-925

【受付時間 月曜日～金曜日9:00～17:00(祝日・12/31～1/3はお取扱いしておりません)】

(グループ保険・ゆうゆうライフプラン・終身医療保障プラン・医療保障プランお問合せ先)

アクサ生命保険株式会社 制度推進部

【照会先】法人ビジネス業務部

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

お問合せダイヤル 0120-200-971(無料) (受付時間 平日9:00～17:00)

(総合医療あんしんプラン担当営業部)

日本生命保険相互会社 公務第一部

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-1 電話 03(5533)5086

Form No.0D2313(7,6) AXA-A1-1903-0342/9F7 2020.08.24(2020.08更新)